新京日日新聞
夕刊　十二月十八日
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵税一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ二 新京日日新聞社 電話 編輯局專用(3)三二〇五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

日本軍艦揚子江遡江 安慶砲台を砲撃

ロイテル漢口電報報ず

【ロンドン十七日發國通】ロイテル漢口電報によると、日本軍艦〇隻は揚子江を遡江し早くも安慶砲臺を砲撃したといはれてゐる

尚も抗戰を豪語

地下飛行場建設を言觸らす

【ニユーヨーク十七日發國通】支那軍は南京陷落後もあくまで長期抗戰を豪語してゐるが、A・P通信社上海支局は支那紙の報道として左の如く報じてゐる

中央軍は日本軍の空襲に備へて新たに某地に地下飛行場を完成した、右飛行場は軍用機百五十臺を收容し得る老大なもので、他方これが守備のため兵力を增强し八萬五千以上の戰鬪員を擁して防備に大童である

各地戰況（十八日朝まで）

▲中南支方面　戰塵にまみれたわがつはもの共は、十七日豪壯「國のしづめ」の曲とゝもに千古に輝く燦たる敵都入城式を行ひ、畏くも朝香中將宮殿下、松井最高指揮官、長谷川司令長官、大川內司令官はじめ各部隊長も威風堂々駒を敵都中心に乘入れたが幾多江南の地下に眠る部下勇士の上に想を馳せ、心なしか双頰に光るものさへあつた、嗚呼、千載靑史にのこる南京入城式、國民は十二月十七日を永遠に忘れることは出來ない

▲津浦、京漢方面　黃河以北の殘敵掃蕩は遂に成つた、觀城、淸豐兩縣において一萬の殘敵を全滅させたわが軍は、十五日完全に黃河以北肅淸を終つたといへるのだ、かくて江南並に河北の地の戰事全く終り今夏以來わが軍の前にあらゆる抵抗を續けた宋哲元軍も全く玆に潰滅され餘すは濟南の山東軍のみとなつた

地下の英靈よ 喜びを分たん

大本營海軍部當局談發表

【東京國通】大本營海軍部當局談（十七日午後十一時四十五分）

皇軍が歩武堂々敵首都南京に入城するの日は至れり、顧みれば上海方面における彼我衝突以來四ケ月、この間わが海軍は特別陸戰隊による上海の防守、艦艇、飛行による陸戰協力、陸軍の輸送ならびに輸送船護衛、上海の掩護、支那船舶の交通遮斷等の作戰に從事し、陸軍諸部隊の善戰力鬪と相俟ちこゝに今日の戰果を收めるに至りたる次第なるが、就中抗日作戰の中樞たりし首都南京に對するわが海軍航空隊の空襲は重ねる事五十餘回に及び參加飛行機延數九百餘機、投下爆彈百六十餘トンにして、また中支各地の空襲に當りては延機數五千三百三十四餘機、爆彈九百餘トン、擊滅せる敵飛行機數四百餘機に達せりかくてわが軍は今や全支にわたる完全なる制空權を確保し、敵空軍は遠く南昌、漢口等の奧地に蠢動するに過ぎざるに至れり、一方海軍艦艇は陸軍作戰の進捗に伴ひ揚子江の掃蕩につとめ江岸各地敵砲臺を目し防材機雷を突破し遂に南京に到達し敵の退路を遮斷、わが陸軍攻擊戰果を擴充する等海陸軍は完全なる共同を遂げたり、かくして南京は遂に陷落せり、本日入城の佳日に當り護國の人柱と散りし多數戰友の英靈もともに來りて南京城頭堂々の行進に列し歡呼の雄叫びに旭日の御旗を仰ぎその喜びをともにすべきを信ずるものなり

南京入城大祝宴

【南京十七日發國通】感激の南京入城大祝宴は國民政府大禮堂に於て午後二時四十五分より〇〇軍樂隊の奏樂のうちに朝香中將宮殿下を迎へ奉り松井大將、長谷川中將、〇〇兵團長を始め陸海軍各將校出席のもとに盛大に行はれた、この日大禮堂の式場には昨日勇士の手によつて作られたテーブルに恩賜の淸酒、勝栗、昆布、鯣、蜜柑などが並べられ長谷川中將の發聲で聖壽萬歲を奉唱、いよいよ祝宴が始められた、宮殿下始め奉り、各將兵は何れも今日の喜びに戰線の緊張を一時和らげ和氣藹々裡に「御目出度う」の祝杯を交はして同三時十分無事式を終了した

空の南京入城式

【〇〇基地十七日發國通】空の南京入城式は十七日午後二時半南京上空に於て陸海合同の大編隊をもつて擧行された〇〇上空に勢揃ひした參加部隊は、海軍飛行隊は〇〇部隊長が、陸軍飛行隊は〇〇部隊長が各々之を指揮して一番機に搭乘、〇〇〇機の大編隊を連ねて堂々進路を南京に取り午後一時頃揚子江に出た、揚子江には我江上艦隊が舳艫相銜へて江岸を威壓してゐる、午後一時半いよいよ入城式だトップを切つた海軍の〇〇指揮官の搭乘機はさつと與中門より城內上空に入り機首を下げた、陸軍飛行隊は海軍の編隊に五分遅れて同三十五分〇〇部隊長機が續き中山路の兩側に居並ぶ陸の强者が道路中央を行進する人馬や兵士が手に取るやうに見える、午後一時卅二分一番機は國民政府上空に差かゝつた、陸海空軍渾然一體となつた、感激の瞬間である、するとこの時機上にあるわが荒鷲、隼の右手が地上を見ながらさつと擧つた、機上より擧手の禮だ「地上部隊の奮戰と今日の喜びを滿へあつて南京空襲に散つた戰友へこの喜びを傳へる萬感交々たる敬禮である」その中にも爆音を轟かし機は中山門より紫金山に出た、何たる壯觀か上空は完全にわが銀翼に蔽はれてゐるので南京の空は日本空だ、いつもガスの多いので有名な紫金山頂も今日の佳き日を壽ぐかのやうに晴れ渡つてゐる

被拘禁者の釋放をソ聯に嚴重要求

甚だしきは一ケ年もその儘

【東京國通】外務省ではソ聯在住の邦人に對するソ聯官憲の頻々たる不法行爲に對し十七日在京ソ聯邦大使館宛左の如き嚴重なる抗議を提出し、責任ある回答を期待する旨を申入れた

一、在ウラジオ商船組合支配人高橋泰治は本年一月四日ウラジオ市中において見知らぬ一婦人より封筒を渡され、何氣なくこれを受取りたるところ直ちに待伏せしたる內務人民委員部員數名のため拘引せられ前記封筒の中の書翰なるものを證據として軍事探偵として起訴、今回の公判も行はれずして今日に及べり

二、本年五月十九日北樺太工業會社ア港事務所員馬場肇助及び同社員川瀨豐太郎の兩名、七月十五日在ア港酒井組合代表間島勝次、また九月十五日在ア港外崎粂吉をそれぞれ拘引何れも軍事探偵、または國家に對する重大犯罪によるものなりと稱し何等具體的容疑事實を擧げずハバロフスクに移送せられたるものゝ如し

三、北樺太石油會社カタングリ支所員菅原正、下村修司の兩名は十一月十六日ノグリク內務人民委員部員の手により拘禁せられわが方の抗議に對し在ア港外交代表はわが總領事に對し兩名の檢擧はソ聯邦に對する重大犯罪によるものなる旨言明せり、帝國外務省は以上の何れの場合に於ても現地帝國領事或は在モスクワ帝國大使をしてソヴイエト聯邦政府に對し反駁嚴重なる抗議を提出し取調べの促進或は釋放を要請したるものなりソ聯當局は取調べに名を藉り荏苒日を重ねるのみにて何等の適切なる措置を講ぜず帝國臣民の身體の安全がかくの如きは文明國においては到底考へ得られざる處にて又憲法によりて人民の權利の保護せらるゝ國家においては到底あり得べからざる不明確狀態の上に脅威せられることはこれ以上默視する能はず、こゝに改めて嚴重なる抗議を提出してソ聯政府の猛省を促し、被拘禁者の速かなる釋放をせらるゝことを要望するものなり

黃河以北には宋哲元軍なし

淸豐城の掃蕩なる

【石家莊十七日發國通】觀城の戰に敵の一ケ師を潰滅したわが軍は息も入れず河北南端の要地たる淸豐を攻擊し、十五日城內に立籠つて頑强に抵抗する敵と物凄い白兵戰を演じてこれを占領し、城頭高く日章旗を揭げた、黃河を渡つて吹きつける風は肌をつんざくばかり、遠征こゝに幾十日、涯なき曠野の强行軍にわが軍は人も馬も綿の如く疲れきつてゐたが、十四日新政府樹立の日、攻擊の命令下るや凜々たる勇氣に燃えてはち切れんばかりだ、淸豐城に據る敵は敗殘の宋哲元が河北、山東、河南の國境に僅かに殘る一掬ひの地を確保せんものと集結させた高、安の二ケ團であつた、十五日午後敵の前哨線を擊破し同夜淸豐の東方二キロの地點に肉薄して土地凍る一夜を敵前に過したわが軍は十五日早朝から膝を埋める一帶の濕地に惱まされつゝ攻擊の火蓋を切り前進、浮足たつた敵を追ふて午後零時淸豐城南門に突入した、敵は退路を斷たれ血路を城外の馬頰河にとつたが河中に溺れるもの數知れず、殘る敵は或ひは屋內に或ひは露路に立籠つて頑强なる抵抗を試みたが激戰一時間、城內悉く血の海と化して一人殘さず潰滅せしめた

敵の損害は遺棄死體だけでも三百を下らず、死傷實數は千を超ゆるものと思はれる、かくて今日まで黃河北岸にわづかに餘喘を保つてゐた宋軍もこゝに全く跡を斷つに至つた

一九二〇年前後の孤立外交に逆戻り

ソ聯戰時體制の內幕

【ロンドン十六日發國通】十六日モスクワ來電は信ずべき筋の情報として獨裁下に强行されるソ聯邦戰時體制の內幕を次の如く如實に報道してゐる

トハチエフスキー事件以來現在に至るソ聯邦の國內情勢は恰も一九二〇年前後の戰時共産時代を髣髴させるものがある吹荒れる赤色の嵐は黨部並に政府機關の樞要部にある幹部連を殆ど全部更迭させ經濟上には輕重兩工業並に鐵道運輸の遲滯もしくは後退が現れ農業コルホーズの弛緩があり社會的には謠言飛んで人心の不安動搖は深刻化しつゝあるかくて戰時共産主義時代の社會不安再來を克服すべくとりあげられたのが十二月十二日の最高會議代議員選擧なのだ、之は現在一般にいふ選擧とは如何なる角度から見ても異る事は當地第三國人の一致した見解で、之を選擧だと大騷ぎした目的は要するに再現した戰時共産主義時代の暗礁克服の爲民衆の總動員をするのが目的であつてそれ以外の何ものでもない、國內的に再現した戰時共産主義は必然にこれと對應する外交政策を必要とする、即ち孤立外交への再轉だ、クレムリン現在の意向は次の如きものと解される

一、國際聯盟は既に生ける屍となり不可侵條約による西方隣接諸國との緊密關係が動搖しソ佛同盟に龜裂が入りスペイン援助政策はロンドンでボイコツトされ支那援助も明確に失敗した

二、これに處するためには結局國內では代議員選擧によりクレムリンの安定强化工作を必要とする事情と相俟つて今後はフランス、チエッコスロバキヤの同盟國を始め英、米獨、日などの一切の外國を出來るだけ敬遠して當分は一九二〇年前後の孤立外交時代に逆戻りして徐ろに後途を策せんとしてゐる

最後にソヴイエト國內一般狀況について一言すれば、物資の缺乏は漸次顯著となり、物價は日々に昂騰を續けモスクワはレモンがなくなつてから既に二ケ月になる、又バターが最近殆どなくなつた、これは國內配給組織が不完全なることが原因だ

入城式參列の一般邦人 約百五十名

【南京十七日發國通】わが陸海軍將兵の外に十七日の入城式に參列した邦人は約百五十名で、日高南京總領事、甘濃西條八十氏の毛皮のジヤンパーにゴルフパンツといふ例の伊達姿もみられた、次は友成四郎氏を團長とする東京市慰問使一行八名だ、「皇軍の武勇には心から感激した」と語り合つてゐる、陸軍に從軍してゐる通譯が卅名、長途の從軍の疲れも他所に朗らかな顏を並べてゐる、上海居留民團長ほか大部分新聞通信記者、カメラマンで約百名、上海戰開始以來かくも多數が一堂に會したことはこれが最初である、このうちには雜誌記者として南京入りした從軍の疲れも他所に朗らかな顏を並べてゐる、一般列席者中最も異彩を放つてゐるのは從軍僧日蓮宗日本山妙法寺（大連）の日向直治師で埃にまみれた衣に風雨に打たれた菅頭巾を被つた姿でたゞ一人兵隊さんの列から離れて光輝ある入城式の光景を見守つてゐた

上海居留民の南京入城祝賀會

【上海十七日發國通】南京入城の歷史的盛儀を祝福して上海居留民は喜びに湧き返つた午前九時上海神社に於て事變後最初の國旗揭揚式並に戰捷奉告祭を行ひ午後一時から官民合同の戰捷祝賀會を催し心ゆくまで祝杯を擧げた、一方陸戰隊では午後零時四十五分數十臺の戰車、裝甲車等を總動員して虹口及び東部方面に亘つて一大行進を起し沿道は國旗と萬歲の聲に埋れ戰捷氣分は街にあふれた、これと呼應して南京入城式に參加した愛國上海號が兩機參加勇姿を現はし虹口上空で壯絕極まる高等飛行を演じ上海は感激の坩堝と化した

人事往來

着京

▲池田龍雄氏（會社員）十八日來京ヤマトホテル ▲高橋岩太郎氏（同）同 ▲粟本秀顯氏（牡丹江副領事）同國都ホテル ▲福山哲四郎氏（滿洲共同印刷）同 ▲安達三十四氏（機械商）同 ▲德永保氏（東亞自動車）同 ▲向井俊郎氏（山海關稅關長）十七日來京ヤマトホテル ▲西田善藏氏（古川電氣）同 ▲倉田芳松氏（大安汽船）同國都ホテル ▲平田進氏（鐵嶺地方檢察廳次長）同 ▲伊藤敏雄氏（關東遞信局長）同向陽ホテル ▲高木佐吉氏（官吏）同 ▲高橋丑五郎氏（滿洲鋼鉛）同 ▲梅崎正雄氏（會社員）同 ▲宮脇幸信氏（商業）同中央ホテル ▲彥坂梅治氏（官吏）同都ホテル ▲吉田曾平氏（官吏）同新京ホテル ▲安達武士氏（同）同國際ホテル ▲大屋元氏（圖們稅關）同 ▲片田義一氏（電業社員）同 ▲佐藤謹一郎氏（官吏）同 ▲秋山崔六氏（滿鐵社員）同蓬萊ホテル ▲武居鄉一氏（同）同 ▲森川外喜治氏（貿易商）同富士屋旅館

出發

▲野中時雄氏 十八日吉林へ ▲谷口三郎氏 哈市へ ▲辰馬謙藏氏 同 ▲近藤謙三郎氏 十七日奉天へ ▲平川市三氏 同 ▲田中重郎氏 同 ▲鹽見實一氏 哈市へ ▲小森兼三氏 奉天へ ▲滑淵誠二氏 同 ▲園山民平氏 同 ▲辻竹次郎氏 哈市へ ▲增本芳太郎氏 釜山へ ▲後鄉芳雄氏 奉天へ ▲島原重行氏 東京へ ▲大迫幸男氏 哈市へ ▲肥田耕三氏 奉天へ

その日〳〵

□南京に日章旗燦然たる時、北支では安居樂業の近きを告示されて、變革期は進む

□新しい民衆の組織、これを文字通りに現はす新民會にわれわれは深く期待しよう

□先づ眞正敎育の再建、その目標は神聖、速かに且つ徹底的に遂行される

□その豫定する事業の着實であることが、鮮かに舊國民黨との違ひを示してゐる

□藝術大會で特別工作を支援する、これは都會と農村をつなぐ新しい一方法である

明春劈頭の豪快

老松嶺密林で大猛獸狩り

ビユーローで百名團體募集

内鮮滿に呼びかく

牡丹江鐵道局ではかねて鐵友會、ビユーロー支部三者主催で非常時にふさはしい東部滿洲の〓にあたる老松嶺の大密林地帶に猛虎或ひは猪群が咆哮跳梁してゐるといふ快ニユースを入手したので、明春劈頭壯快極まりない一大猛獸狩を行ふことゝなり、目下全滿は勿論朝鮮内地まで呼びかけアマチユアー獵師の參加を募つてゐる

△參加規定

一、希望者は一月四日までに牡丹江、圖們驛に集合、九日牡丹江、圖們で解散式を行ひ、十日牡丹江で座談會を開きこれを牡丹江放送局で實況放送をなし全滿に中繼す

二、參加人員　百名

三、參加費　十圓

四、受付は各地ビユーロー及び牡丹江鐵道局旅客係、受付締切は十二月廿五日迄

大和通の小火

十八日午前十一時二十五分大和通六四石田晃二氏方天井裏から發火、急報に驅けつけた祝町消防署員によつて大事に至らず天井一部を燒失同四十分鎭火した、原因は煙突の不完全によるもので損害は僅少である

石炭一トン二十八圓也

◇……但し牡丹江の話

極寒地帶に最も大切な生活必需品である各種石炭中現地産として東滿一帶に顧客を持つ穆稜炭が冬天來と共に貨車不足を理由に天井知らずの値を上げてゐる、今冬初まで噸十九圓だつたのが今日では廿四圓、甚しいのになると廿八圓といふ工合にいづれも貪慾な商人の非合法手段で賣値をつり上げたもので、貨車不足とは眞ッ赤な嘘、生活權の脅威だとて先づ牡市湯屋組合が穆稜炭及び中間商人排撃の狼火をあげ續いて旅館業組合が膺懲の名乘りをあげ、燃料地獄の十萬市民に一大警鐘を亂打し出した、湯屋業組合では十七日牡丹江警察廳を訪れ中間商人の暴狀を訴へ官憲の力によつて此不都合を排撃されたいと陳情したのでかねて投書等によつてこの種惡德商人をリストしてゐるので近く斷乎排撃することゝなつたが、市民側でも穆稜炭不買同盟を組織せんといきまいてゐる

滑べろや滑べろ（西公園にて）

昭和十二年を顧みて（十八）

國都滿洲國人の市政への關心

治廢、行政權移讓準備時代

先づ滿鐵附屬地行政權移讓に至る迄の滿鐵側と市公署側の折衝經過を擧げるに、康德四年一月六日、市公署滿鐵の當局者間に於て新京治外法權の撤廢、行政權移讓懇談會を結成、爾來鋭意移讓準備その他移讓後に於ける

市政

の大綱方針に關し討議を續行先づ討議の對象を行政機構、財政二項目に大別、更に討議部門を細別して一、總務分科會二、行政分科會三、財務分科會四、工務分科會の四つの分科會に分ち、總務分科會では特別市の機構例規調整々理、行政分科會では市の區域、諮問機關、補助機關、區政を、財務分科會では主として豫算關係、工務分科會では移讓施設を中心に何れも從來に比し急激な變化を與へぬことを根本方針として審議に審議を重ねて來たことで、行政關係で現在到達してゐる懇談會の結論として特に注目すべきは新區制の制定方針として一、現在の町會組織保甲組織を基準とし二、警察業務分擔區域を考慮して三、淨月潭國道還狀線の市域編入に依り總面積四百三十七平方キロに擴大された市の區域を十八區劃に分ちこのうち十二區を市街地六區を農村地區に大別したことである、その他區長の下に町會五十を新設各種附屬機關、衞生組合、編祉委員會、課金審査委員會等は依然存置し、滿鐵新京支社地方課より轉出する二百五十名を市公署に入署せしめることに決定、十二月一日移讓實施と同時に市公署において之れが入署式を擧行徐特別市長の訓示があり、移讓された諸機關の看板は一齊に新京特別市の名稱が冠せられたその他七月一日の行政機構改革に伴ひ特別市が國都のみに限られたことと、新京特別市の區域と首都警察廳の管轄區域と同一にしたこと、ならびに從來特別市制は官制事項と團體法規とが

規定

せられたので特別市制は首都に關する制度のみに限り規定する事となり、九月三十日參議府會議の諮詢を經て、全文四十八條より成り、第一章通則に於て特別市の區域、特別市住民の權利義務等を規定し、第三章に特別市の行政、第三章に特別市諮議會、第四章に特別市給料及び諸給與、第五章に於て特別市の財務、第六章に於て特別市の監督を夫々規定し附則において特別市の區域には暫行保甲法を適用せぬことと本法施行の期日迄特別市自治委員會であつたものは、その任期中特別市諮議會員とみなすこと、及び從來の特別市政はこれを廢止する旨を明示せる「新京特別市制」を公布、十月十日より施行された、尚記述に幾分の順序を失したかの感はあるが本年一月八日治廢、行政權移讓を前に保甲團商務會の知識階級五百名にカードを配布、國都滿洲國民の市政に對し

一、交通に對する意見

二、市營質屋設立の必要有無

三、公設職業紹介所設立の必要性

四、小賣市場增設及地點内容に關する意見

五、慈善團體の施粥配給狀態の適否資金募集策に對する意見

六、保甲制度以外に相互の親睦融和を目的として二、三百戸をもつて一團體とする町内會の必要有無

七、市税に對する意見

八、現行市税徴收方法の改善策如何

九、小學校高級生の授業料目に農商の實科々目を加へることに對する意見

十、現有市内中學校が少數なるため子弟の入學に不便を感ずるや否や

十一、市立醫院の利用上不便ありや否や

十二、市内公園の設備に對する意見

十三、市内清掃に就て改正を加ふべき點ありや否や

十四、上水道切符給水方法及位置增設に對する意見

十五、其他市政に對する希望等の意見を求めたことは市當局者が治廢並びに行政權移讓に對し如何に細心なる注意と並々ならぬ努力を拂つたかが察せられる、その

結果

一般市民から寄せられた返事は左の如く三月六日市公署より發表せられたが頗る興味深いものがある

一、市内交通に關する要望としてはバスに對し都市の擴大と乘客緩和に備へるため車輛の增加車輛の短縮徐行の要望最も多くタクシー（豆タクをも含む）に對しては車輛の增加を計り大衆的なることを望むものが斷然多く應募者三百六十七名の内百五十一名を占めてゐるその他辻馬車に對しては淸潔を望むもの電車の敷設要望などが之についでゐる

二、公設質屋設置に對しては貧民救濟の目的より最も必要な金融機關として設置要望の聲多く

三、公設職業紹介所設置については失業者續出に對して何等の施設なき現狀に鑑み四百三十五の要望者を示し

四、市營小賣市場、小學校に實科々目の增補、中等學校の增設の要望は何れもその聲多く公園施設の完備市内淸掃、改良等には傾聽すべき意見あり、町内會の設置については必要なしとの結論を得たが市民直接の聲として市政に携る人の參考になるべき點が多い事と思ひことゝ蛇足を加へた譯である

アパート向の煖房焚き方指導

森井氏十九日乾寫眞館で

先般新京煤煙防止委員會其他共同主催、本社その他後援による「煤煙防止と燃料經濟週間」にて焚き方の實地指導を行つた斯界の權威日滿商事東京支店燃燒士森井己作氏は其後奉天、大連に於て指導をなしたが、更に哈爾濱煤煙防止委員會及び哈爾濱鐵路局よりの招聘により該地に於て焚き方の指導に赴き、近く歸國の途につくことになつたが、氏の哈市より歸途再び新京に立寄るを機會に當地煤煙防止委員會では先般週間中は講師の都合にて實施し得なかつた一般アパート乃至ビルデング向の中型煖房の焚き方指導を特に左記に依り行ふことゝなつた

日時　十二月十九日午後二時

場所　吉野町一丁目乾寫眞館煖房室

講師　森井己作氏

尚數回に亘り各種の焚き方に就て實地指導を行ふ筈であるからこの機を逸せず、煖房取扱者は素より多數關係者の參加を希望してゐる、尚特に滿人通譯を付する筈

馬車夫の惡事

十七日午前八時頃宮内府附近に於て身分不相應の小型寫眞機を所持徘徊する擧動不審の男を首都警察廳捜査股員が發見本廳に連行嚴重取調べの結果右は興運路管内興花街門牌十號客馬車夫陳惠（四〇）で約廿日前（日時不詳）午後十時頃該馬車に乘車した客が置き忘れたもので賣却せんと徘徊中を發見逮捕されたものである尚寫眞機は赤帶サック入時價百八十圓であるが心當りの者は至急同廳捜査股まで申出でられたいと

郷軍年賀狀廢止

在郷軍人會新京聯合分會では年賀狀廢止運動に應ずることとなり、趣旨を全會員に徹底させる外國防會館建設基金の件始め本年度事業報告を行ふ爲十九日午後四時三十分より本年度最終各分會長會議を記念公會堂會議室において行ふことゝなつた

滿鐵支社室割り

滿鐵新京支社内には地方課解消と共に新に工事事務所日本人學校組合が新設されたゝめ左の如く室割の變更が行はれた

△業務課三階東

△鐵道課二階東

△日本人學校組合四階西

△工事事務所四階東

△住宅係三階東

△元地方課庶務二階第一會議室

△用度事務所一階西

△列車區一階東

ボるまいぞよカフエー業者

中央通署保安係から注意

年末愈よ押し迫ると共に出揃つたナスは一層拍車をかけて巷はナス景氣の氾濫にいさゝか活氣を呈して來た、とくにネオン街は書入れXマスを目睫にしてナスにたんまりふくれた懐中は正に逸すべからずとあつてこゝを先途と客足吸收策に必死の商戰を展開してゐるが、かねてナス景氣の人心弛緩を好餌として暴利をむさぼり或は押賣等のインチキカフエー出現のいまはしい聲に對し中央通署では時局柄もつてのほかであるとこれら不良カフエーの内偵を進め嚴重取締りつゝあるが、同署保安主任岡田警佐は左の如く語り業者の一層の自重を要望した

國都カフエーの淨化、明朗化については爾來業者と提携努めて來たところであるが、最近ナス景氣をねらつて押賣り暴利等のインチキぶりを發揮するカフエーあるとの噂を耳にし、又さうしたことに於て客對業者間に問題を惹起して當局の手數をかける不心得が現れ折角築き上げたカフエー明朗化もかゝる一、二の不良店の出現によつて業界を汚濁攪亂されることは甚だ歎かはしくまた捨て置き難いことであるまして非常時局下にある重大なる秋であり當局はこれまでもかゝるインチキ業者に對しては進んで摘發注意を促して來たが、今後も徹底的に取締ると共に尚從はざるものは斷乎處分の方針である、この際業者の自戒を切に望む

新京交響樂團第一回演奏會

來る廿二日記念公會堂で開催

曩に設立せられた新京音樂協會交響樂團では電々講堂に於て大塚淳氏指揮のもとに連日猛練習を續けて來たが愈よ來る二十二日午後六時三十分より記念公會堂にて第一回演奏會を開催することとなつた、プログラムは左の如く、會員券は五十錢である

△第一部

一、交響樂（ロンドン）…ハイドン曲、（イ）アダヂオ（ロ）アンダンテ（ハ）メヌエット及トリオアレグロ（ニ）アレグロスピリトオゾ

二、ソプラノ獨唱（イ）久方の（ロ）人はいざ（ハ）希望の乙女

三、テノール獨唱（イ）さすらい人（獨語）（ロ）濱邊の歌（ハ）ベカチ

△第二部

一、歌劇アルルの女（組曲第一）ビゼー曲（イ）プレリユード（ロ）メヌエツト（ハ）アダヂエツト（ニ）カクロン

二、交響曲黎明（合唱付組曲）清瀨保二曲（イ）職場（ロ）平和（ハ）建設（ニ）一德一心

三、圓舞曲美しき碧きダニユーブ…シユトラウス曲

大塚淳氏指揮の下に主なる出演者はソプラノ獨唱細田謹、テノール獨唱淸水英子、ピアノ伴奏和泉初音氏等である

義士討入り記念武道

愈よ明日開催

滿鐵運動會新京支部社員會新京聯合會主催第三回義士討入記念武道大會は十九日午前九時から新京商業學校講堂に於て擧行されるが出場還士柔劍道各十餘組に上り盛況を期待されてゐる

于總監祝町消防署初巡視

于首都警察廳總監の祝町消防署初度巡視は十八日午前十時關口副總監、曾根警務科長、木内警務股長その他帶同來署型の如く署員委任官以上挨拶橋國署長の狀況報告、署内巡視訓辭等あつて十時半終了歸廳した

尚全員奏曲目中（黎明）は關屋副市長の命名で東亞の黎明といふ意味である

大同學院第二部六期生卒業式

滿洲國大同學院第二部第六期生卒業式は廿日午前十時三十分から同校講堂で擧行される

新京實生會納會

新京實生會では來る十九日午後一時から大興公司倶樂部（百草路）で素謠納會を催す、同日は遠く公主嶺より同流者來會の筈で一般來會者を歡迎する由、尚同會では毎月數回大連より實生流師範として令名ある片桐敏博師の出張稽古を受け、斯道の發展を期しつゝあり、入會者を歡迎するとの事である、希望者は白菊町五ノ三三朝倉智教氏又は錦町三丁目一番沖木下莊氏（電3五二二四）に申込まれたいと

當日の番組

紅葉狩、景淸、烏帽子折、淸經、唐船

金融合作社町田理事

新京都市金融合作社理事町田知法氏は十七日同合作社成立したので十八日挨拶に來社した

メソヂスト教會

一、クリスマス禮拜　午前十時半

說教「馬屋のイエス」　山口牧師

一、兒童說教「クリスマスの鐘」　古村兄

一、其の他

一、夕拜　午後七時半

一、讚美歌練習

クリスマスの思ひ出　有志

日本基督教會

一、日曜學校午前九時

一、聖書學校午前九時五十分

一、朝拜午前十時四十分

說教「待望の精神」　石川牧師

一、夕拜午後七時半

說教「十字架を負いて」　石川牧師

日の出を拜する集ひ

十九日日曜日西公園誠忠碑前にて日の出を拜する集ひ、新京の日の出時刻八時八分、市民早起會行事右終つて忠靈塔參拜

あす（十九日）

▲歲末同情週間第二日

▲義士討入記念武道會、午前九時、京商道場

▲蒙古實務學院卒業式、午前十時

▲三江省工作支援忘年藝術大會、午後二時及七時、協和會館

▲谷本駐滿海軍部司令官赴京　午後六時二十分

今晩の主なる放送

七、三〇　講演（東京）「昭和十二年を回顧して（一）ー政治・外交」法學博士松田道一

八、〇〇　一、俚謠聯曲「新る民草」

二、琵琶「那須の與一」

三、萬才（京都）「萬歲南京破れ」

四、歌謠曲

九、〇五　長唄（東京）「櫓辨慶」杵屋六左衞門

警官挺身隊 けふからの新京キネマ

新京キネマ十八日よりの番組は左の如く日活一番を配した二本立である

▽日活多摩川「警官挺身隊」某銀行襲撃事件に取材した長島富三郎の原作に基いて荒牧芳郎が脚色、伊賀山正徳の監督により大城龍太郎が黒田記代、田村美紗子、上代勇吉、近松里子、瀧口新太郎、石井美美子、京町みち代、北龍三等と共に活躍する、日活がこれ、その本格的にハリ切るGメンものの水準をつかねば不可ない

▽同京都「續浮名三味線」帶井良平監督が黒川彌太郎と深川初津子を使つて製作し、第一篇に次ぐもので、スタッフ。キャストともに面目一新、衣笠十四三監督により尾上菊太郎、原駒子原健作、市川百々之助、清水照子、比良多惠子等が主演江戸深川を背景にやくざ蝙蝠安が惚れた女お初との纏れに描く愛慾ものがたり、原作は邦枝完二のもので大每東日に連載された

ニヤリ〳〵笑はれるので、奥に入つて訊いてみて「アラ、マアッ！」と驚いたが後の祭り、辱しいやら腹立たしいやらでその日一日中プン〳〵▼オカッパ娘の久子クンは開店以來三年間勤續してゐる子飼ひの評判娘、先頃の同店三周年祝ひに表彰されたとか、今後も可愛がつてやつて下さい▼オランダ茶房はモンテカルロのダンサー連が彼氏等との密會の場所に利用せられ益々繁昌してゐるがこゝの秋子クン▼感心に良く腹もたてずに每日電話で彼氏と彼女とのとりもちをやつてゐる▼オカッパ久子クンと共に表彰してやつても良い▼一番厄介になつてゐるといふ話のあるモンテのリナ君、一つどうかねボーナスでも出してやつたら

日曜	舊十一月十七日
庚辰	
先負	
定	
虚宿	

●一白の人 入の口舌が我身に振りかゝり來たる日注意 乙と庚と壬が吉

●二黒の人 家内に風波なければ事業は自から進むべし 甲と乙と庚が吉

●三碧の人 喜びも喜びに終らず滿つれば過失を招く日 乙と丙と丁が吉

●四綠の人 褌を締め直して掛れば縺みも解け去るべし 甲と乙と丙が吉

●五黄の人 寸陰を惜んで勵む時は虚より實に移るべし 甲と乙と辛が吉

●六白の人 進むに秩序あれば任は重くも果すことを得 乙と庚と辛が吉

●七赤の人 近き所より遠きに及ぼすべき事を忘るゝな 甲と乙と庚が吉

●八白の人 人を容るゝの量なければ邪魔の入り來る日 乙と丁と辛が吉

●九紫の人 守勢より一歩一歩と攻勢に轉ずる好機なり 丙と丁と壬が吉

雜音

新京キネマ、豐劇寫眞蒔り日活一番は中作品の併立、こゝの實力を計算することならう▼豐劇は「夜の空を行く」に魅力がある、歳末同情週間の資金募集とあるから賑ふであらう、添ものは松竹の「お琴と佐助」▼帝キネの正月第二週ヴロは第一週「母の曲」の後篇にダニエル・ダリユウの「戀愛交叉點」、第三週は「エノケンの猿飛佐助」と「港の掠奪者」と決つたらしい

すぽてん

喫茶ハリウッドの幸子クン、或る人から「君は水揚はすんだか」と訊かれて「えゝ濟んだわヨ」と言つたもの〻「水揚」が何んのことか判らない

夜の空を行く

△佛オーレア映畫、アナベラとピエール・リシャール・ウイルムが主演する映畫で、或る飛行機會社に勤める五人の操縦士と一人の發明家がアンヌ・マリーと呼ばれる美しい女技師をめぐつて彩るロマンス、「夜間飛行」のアントワーヌ・ド・サンテクジュベリのオリヂナルシナリオを得てレイモン・ベルナールが監督に當つた作品、空に生きる人達の新しき感情、生活を取りあげて航空映畫としての魅力ある境地を開拓してゐるもの、助演者はジャン・ミュラー、ポール・アザイス、ピエール・ラブリー、クリスチャン・ジエラール、アベル・ジャカン等、豐樂劇場歳末同情週間に十八日より封切

滿洲金融界の一ケ年（三）
農事合作社の設立と庶民金融改善（A）

庶民金融に於ては、農事合作社の設立により一歩改善に乘出したわけだ。農事合作社の金融部門は未解決の儘持越されたが併し農事合作社がどんな形かに於て金融を司ることになるであらうし其の曉には確かに滿洲の庶民金融上一エポツクを劃するであらう。此の農事合作社は日本の産業組合と同一性質を有し農産物の加工販賣、檢査、貯藏、運搬調製、農業倉庫の經營、農産物交易場の經營、利用設備必要品の購買、金融等を行ふものであつて、主たる目的は勿論金融部門にあるわけではない。併し、滿洲農村金融の現狀に照し寧ろ金融部門に於ける役割を我々は大きく評價したいのである。

滿洲の庶民金融機關は金融合作社、（金融會、金融組合を含む）當舗、（日本側は質屋）錢莊、錢舗等があり、何れも相當の歷史を有し、各々分に應じて活躍をして居るが右の中國家的に統制されて居るのは、金融合作社と大興公司經營の當舖より外はない。前殘りは全部無統制であり、前時代の高利貸資本の型に據つて居るのである。從つて貸付利率は極めて高利であるばかりでなく、貸付條件其の他による金融的搾取は庶民階級の癌であつた。

金融合作社は斯かる弊害を匡正する爲に、朝鮮の金融組合の例に倣つて康德元年以來各地に設立され、新京に聯合會を置き、相互の連絡を圖つて庶民階級の金融を擔當して來たのである。併し乍ら金融合作社の構成員は、庶民階級の比較的上層部であつて、大部分を占める中小農民は參加する能力がなく此の恩惠に浴せないのみならず、構成員を通じ、中間金利を搾取されると云ふ狀態であつた。即ち大農は金融合作社から借りた金を小農民に轉貸しする場合に相當の高利を稼することを忘れなかつた。此の弊に鑑み、今春金融合作社では、小農を十人連帶で加入せしめ、特別信用貸付を行つて相當の成績を得た。併し何と言つても此の位の方法で、農業資金の供給が滿足に充たされる筈はなかつた。（未完）

上海の貿易　顯著に增加す

【上海十七日發國通】砲火の危險から解放された治安の復舊するに伴ひ上海の貿易は漸次恢復に向ひつゝあり、海關發表によれば十一月中の上海港輸出入總額は二千八百四十一萬七千圓と前月に比し五百五十九萬四千元（二割五分增）增加してゐる、輸出入金額左の如し（單位千元）

	十一月中	本年累計
輸出	六、〇〇	三六、六三
輸入	10、三四	四四、〇七

すなはち前月に比し輸出は三百八十一萬三千元（二割七分增）輸入百七十七萬九千元（

北支棉で　米印棉に替ふ

滿洲棉業聯合會は明年度外棉輸入許可限度二千萬圓に基き過般來輸入業者間において輸入數量の割當を協議中であつたが、この程協定成立し當局の許可をまつて至急外棉の輸入に取掛かることになつた、滿洲における紡績棉は滿洲産棉のほか米、印度棉年額約六十萬ピクル輸入の必要あり、同聯合會はこれ等米、印棉の代りに全部北支棉をもつて代替せんとする方針の下に積極的に北支棉買付に乘出すことになり、本月廿日左記調査員を派遣することになつた
▲理事長　滿洲紡績幸島寛太

六河溝炭礦開發　興中公司で技師派遣

【彰德十七日發國通】河南省最北端の六河溝炭鑛は興中公司と河南省自治政府との間に協議の結果いよく開發に着手するに決定、既に興中公司より技師數名を派遣、兩三日中に操業開始の見込となつたが、同鑛の石炭はコークス炭の原料たる煉結炭で工業用燃料として價値多く十數年來我國でも着目してゐたもので炭層は最低三米五十から最高七米、平均四米五十で鑛脈は約百米の深さで現在三ケ所に縱坑あり、ガス少き爲安全燈の必要もなく六月上旬までドイツ人技師長がゐたので一千キロの發電機二臺その他機械設備も完備し坑夫約五千人を使用して採炭量一日二千噸の見込み、埋藏量も附近の炭坑を合せて約三億噸と推定され京漢線の輸送恢復とゝもに同地方からの出炭は頗る注目されてゐる

二割一分增）方のそれぐ増加となつてゐる、しかしながら昨年同期より見る時はなほ頗る少額にして輸出において五割五分、輸入において六割の激減である、なほ貿易の恢復に伴ひ出入船舶數も增加し日本船を除く外國船の十一月中の上海入港數は卅七隻（內英國船十七隻）で、前月より十二隻の增加を示してゐる

滿洲石油會社　倍額增資決定

【大連國通】滿洲石油會社（現在資本金一千萬圓）は業務の擴張に伴ひ增資の必要に迫られ明年度より倍額の二千萬圓に增資することに決定、滿鐵でも明年度豫算にこれが拂込金二百五十萬圓を計上してゐる

本年度社國線營業　國線收入激增

本年度（四月一日以降）十一月末日現在の社線、國線收入概算は社線總收入九千四百萬圓で前年同期に比し約五百萬圓の增收となつてゐる、國線は總收入八千七百萬圓で一千八百萬圓の激增を示してゐるしかして注目すべきは國線の異常な增收で總收入八千七百萬圓は未だかつて見ざる躍進的記錄で前年度においては社線收入の差額は二千萬圓の多額に上つてゐたが、今年度はその差額僅か七百萬圓程度といふ接近ぶりで國線收入の社線超過も近き將來と思はれるに至つた、右は從來採算上悲觀されてゐた國線が線路の擴張經濟建設の發展に伴つて漸く經濟鐵道としての眞價を發揮するに至つた實證ともいふべく注目に値するものがある十一月末現在における社國線收入概算左の如し（單位千圓）

		前年同期
△社線		
貨車收入	六六、000	六二、000
客車收入	一五、000	一四、000
港灣收入	九、000	八、000
その他	四、000	四、000
合計	九四、000	八九、000
△國線		
貨車收入	五八、000	四七、000
客車收入	二三、000	二〇、000
その他	四、000	二、000
合計	八七、000	六九、000

商況欄　十八日前場

▲理事　日本綿花森福三郎
▲會員　東洋棉花上田和正、江商株式小原和吉、伊藤忠商事是近秀男
▲書記　上村正守

海外經濟電報

倫敦金塊　[illegible]
紐育金塊　[illegible]
倫敦銀塊　[illegible]
同先限　[illegible]
紐育銀塊　[illegible]
孟買銀塊　[illegible]
スチール株　[illegible]
アナゴンダ株　[illegible]

▲市俄古小麥　[illegible]
▲紐育棉花　[illegible]
▲印棉　[illegible]
▲カルカツタ麻袋　[illegible]
▲外國爲替　[illegible]
▲滿洲中銀爲替　[illegible]

各地株式市況

▲東京株式（短期）[illegible]
▲大阪株式（短期）[illegible]
▲大連株式（短期）[illegible]

各地商品市況

▲大阪綿糸　[illegible]
▲大阪棉花　[illegible]
▲大阪人絹　[illegible]
▲大阪期米　[illegible]
▲橫濱生糸　[illegible]

各地特産市況

▲新京　[illegible]
▲大連　[illegible]

青春の宿（上海映演）　須藤鐘一作　柴谷幸二郎畫

（七四）

第一步（九）

岡見が、松の室にはいつたときは雪枝の初枝はそこにゐなかつた。

『たゞいま、お風呂をめしてゐらつしやいますが……』

さ、いふ女中のことばに

『さうか……では、用事があつたらよぶから……』

それも入浴後の定めし、ひさここたへて女中をさげたがきは美しく見えるであらう雪枝の肉體をしみぐ、眺めてみたい氣持からだつたさ、まもなく――障子をひらいて

『あら、いらつしてたの？』

聲をきく迄もなく、足音でその方に目をすゑてゐた岡見は、湯上りの肉體に、浴衣を羽織つただけの雪枝の姿を見るさ、思はす、胸が高なつて

――のどがかはくやうな氣がするのであつた。

『うん――いま、來たばかりぢや』

『さう……いつしよに、お風呂にはいらうさ思つてまつてたのだけど、あまり遲いやうだから、ひとりではいつたのよ……あなたもはいつてゐらつしたら……』

『うん……わしは、あとでも……』

『でも……わたし、ちよつとお化粧しなければならないから……その間、はいつてゐらつしやいよ――食事も、その間にもつてこさせますから……』

『さう、さうか……それでは……』

岡見は、なぜ、もう少しはやくこなかつたか――と後悔する。いつしよに、風呂にはいれたのに……

岡見は浴場へおりていつたがむろん、おちく洗つてゐる餘裕なさはなかつた。

一刻でも――一秒でも長く雪枝の側にゐなければ、ぞんだ、といふやうな氣持で――

二階へ上つていつた。

その間に――雪枝は、巧なメークアップをほどこした上で、全身に、香水をふりかけ――スーツケースの中から、海老茶色のビロードで、和服姿に作つたパジヤマを着たがそこへ女中が、贅澤な膳部をはこんでくるさ

『給仕はよいから……それから夜具は隣へしいてをいてくれただらうね……では、食事がすんだら、すぐやすみますから、もう、構はないでくれてよいよ』

『かしこまりました……』

雪枝から、十圓紙幣のチツプをもらつてゐる女中は、易々さしてさがつていつた。

さ、雪枝は、スーツケースからさりだした小瓶のふたをさり、中の液體を銚子に注いだ――これは初枝獨特の武器である阿片まじりの媚藥なのだ。

それをいれるさ、初枝は嬌るやうな笑ひを浮べたが――さまもなく浴衣姿の岡見がはいつて來た。

初枝の、その海老茶色のパジヤマに包まれた美しい姿勢をみるさ岡見は、またじでも目をみはるのだつた。

『あゝ、いゝおゆだつた』

さ、てれくさゝうにいつて膳の前にすわつた。

『やあ、手まはしがよいね……かんもついてゐるぢやないか……』

『給仕はゐない方がよいさ思つてことはつておきましたから……お上がりなさいな』

『や、手づからのお酌かね――』

岡見は、せいぐ、ぐだけたつもりでこんなことをいひながら盃をうけたが、それをのみほすさ

『どう？――わたしのお酌は……』

さ、雪枝が笑つた目できいた。

新京日日新聞 朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一ケ月壹圓 郵税一ケ月拾五錢
廣告料金 普通 一行壹圓五拾錢 特別 一行貳圓五拾錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三二〇

發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

愈よ窮鼠の蔣政權

漢口、重慶既に不安 支那第二次遷都か

成都說眞劍に考慮さる

【上海十八日發國通】南京陷落を契機として日支の戰局はいよく第二段階に進み支那軍の第一線は津浦線徐州より半月形を描いて杭州に至り江蘇、安徽、浙江の三省にまたがる尨大な戰線を築いてわが軍の進擊に備へてゐるが、この新防備陣が崩壞した場合漢口は當然危險に晒されその餘波は重慶にも及ぶのでこれが對策として第二次遷都を行ふべく眞劍に考慮中なりと傳へられる、その第一候補地としては諸種の事情よりして四川省の成都、雲南省の昆明、貴州省の貴陽等が擧げられてゐるが、古來天險をもつて知られた重慶の背後地成都說が最も有力である、所謂大本營なるものは南京陷落以來戰時における軍事、政治、經濟の最高統制機關としての機能を喪失して單なる軍事機關化しつゝある模樣で、その所在地も蔣介石の居所として情勢に應じて時に移動性を持ち作戰根據地が大本營所在地たるの觀を見せてゐる

揚子江封鎖に狂奔（我艦艇の遡江惧る）

【上海十八日發國通】支那側の發表によれば、揚子江河岸九江附近の封鎖線は四十萬の勞働者と四ケ月の月日を費して十七日遂に完成された支那側ではかゝる封鎖線を更らに多數設置する意圖を有し既に鄱陽湖と揚子江の合流地點附近のそれも完成して居る旨を傳へてゐる、なほ九江上流武昌西方の田家鎮地方揚子江岸一帶には堅固な砲臺を築造中で、わが艦艇の遡江を惧れて凡ゆる手段を盡してゐるもの、如くである

南京政府の否認 政府、年內に聲明か

【東京國通】南京政府の否認は南京陷落前既にわが朝野に有力に主張せられ來つたところであるが、南京は既に去る十三日わが軍のため完全に占領せられ政府機關また奧地に分散遁走し名實共に中央政權たるの資格を失つた、他方北支には十四日北京において新生の中華民國臨時政府が誕生するに至つたが、南京政府は今日に至るも尙反省の模樣が見えないので、帝國政府としてはこの際南京政府否認の態度を決定することがわが對支方策確立の前提とされてゐるよつて十七日の閣議において もこの問題が中心題目として論議された模樣で、政府部內においては年內に蔣政權否認を斷行して國民政府を單なる地方政權として取扱ふべしとの論が有力化してゐる

支那空軍は漢口に集中

【上海十八日發國通】漢口來電によれば、支那空軍は南京を失つて以來漢口に集中してゐるが、右のうちソ聯製爆擊機、戰鬪機等多數あり、しかも三十數名のソ聯人操縱士が活躍してをり、彼等の中にはスペイン人民政府の軍服を着用してゐるものもある、その他の外人も支那空軍に參加しソ聯人操縱士とゝもに日本空軍と數次に亘る空中戰を演じ今や支那空軍の中心勢力は外人によつて握られた形となつた百二十機は十三日操縱士二百四十名とゝもに蘭州經由漢口に到着したと

北寧鐵路局長代理周慶滿氏就任

【北京十八日發國通】北寧鐵路局副局長周慶滿氏は局長陳覺生氏病死のあとを受け十七日局長代理に就任した

蔣政權乘取り ソ聯二ケ條の新要求

【東京國通】入手せる確實なる情報によれば、新任ソ聯駐支大使ルガネツ・オレルスキー氏は十五日午後一時書記官以下九名の一行とゝもに漢口に到着した、氏は直ちに支那側に對し

一、南京政府を抗日人民戰線政府に改組し同政府職員の半數を支那、他の半數をソヴイエト政府より起用すること

二、蔣介石の大本營幕僚中に紅軍士官を加へること

の二個の條件を提出しいよいよ蔣政權乘取りの鋒鋩を現はして來つたが、すでにソ聯機

劉駐伊大使 羅馬引揚げ

【ローマ十七日發國通】駐伊支那大使劉文島は明年一月上旬ローマを引揚げ本國に歸還することに決したが、ローマ政界では劉大使歸國の理由を左の如くみてゐる

事變勃發以來支那政府は劉大使を通じ積極的にイタリー政府接近を策したほか孔祥熙、陳公博、蔣介石の特使蔣方震等がローマを訪問した、殊に蔣方震はムツソリーニ首相、チアノ外相と數回會見、イタリーの好意ある援助を懇請したが、これに對し南氏より支那の對日態度につき反省を求められ何等得るところなくイタリーを去つた事實あり、劉大使今回の歸國も表面は本國政府と打合せのためと稱してゐるが、一般にはローマに歸任せぬもの、と信ぜられてゐる、かくて支那大使館は閉鎖しないまでも事實上は閉店休業の狀態に陷り大使館としての機能を失ふものとみられてゐる

抗日大同盟を結成 民衆に服從強制

【上海十八日發國通】支那側の情報によれば、南京陷落後意氣銷沈せる抗日陣容を建直すべく國民政府監督の下に十八日漢口に於て全國抗日大同盟を結成することゝなつたこれがため全國人民を總動員して抗日第二段階たらしめ本部を漢口に置き全國各地に分會を設け今後は軍事上の命令を發し全國人民は絕對服從を強いられる、この新組織の第一の命令としては南支八省において大規模の新兵募集を行はしめることで廣西省一省だけでも三十萬人を募集するといふ

南京攻略における敵遺棄死體十萬 捕虜は數千名に上る

【南京十八日發國通】十八日午前九時上海軍發表（一）南京攻略にあたり敵の遺棄せる死體は八、九萬を下らず、捕虜數千を算す、鹵獲兵器及び軍需品は二十四センチ榴彈砲以下多數の各種砲ならびに小銃彈などその他莫大なり（二）南京城はもとより交戰地區における各都市村落は悉く支那軍ならびに暴民の掠奪を蒙り加ふるに砲火により殆ど灰燼に歸し皇軍將士は宿營に多大の困難を感じたり（三）豫め軍の特に憂慮せし中山陵その他保護建築物及び物件等は敵守備兵或は敗殘兵等のため破壞せられ慘憺たる狀態を呈しあり

范總領事 更らに意見を具申

【京城國通】京城駐在中國總領事范漢生氏の中國臨時政府參加決定は朝鮮在住中國人に異常な反響を與へたが、大體において殘存居留民は日支提携に心から歡迎する處で今回の范總領事の決意遂行に協力を惜まぬものと見られる、而して范總領事は十七日午後再び總督府に松澤外務部長を訪問種々懇談を遂げたが、其際新政權に對する京城總領事館としての積極的具體的意見を吐露した模樣である、尙ほ范總領事の腹心にして親日派である鎮南浦駐在領事張義信氏も范總領事と同一態度に出るものと見られてゐる

不動の廟議決し 閣議終る

【東京國通】南京陷落を契機とする帝國政府の第二段の對支根本方針に關する諸般の方策を決定するために開かれた十八日の臨時閣議は午前十時四十分開會、午後零時半一旦休憩引續き午後二時四十分再開、近衞首相以下全閣僚出席大本營と內閣との連絡會議において決定を見た各般の對支方策について更に愼重なる討議を重ねた結果具體的の各要案について全閣僚の間に完全なる意見の一致を見、こゝに帝國不動の對支新國策についての廟議一決し午後四時半歷史的な閣議は散會した、なほ政府においては各閣僚の決定に基き廿日改めて大本營との連絡會議の幹事會を開き町尻陸軍、井上海軍兩軍務局長、風見書記官長の間に最後的打合せを遂げた上さらに二十一日の閣議に附議し諒解を求めることゝなつた

大朝井上氏榮轉

大朝記者井上震治郎氏は今回哈爾濱支局長に榮轉十八日午後六時三十分發〃あじあ〃で多數の見送りをうけ家族同伴赴任した

青木科長嚴父

治安部警務司特務科長青木重臣氏は嚴父危篤の報に郷里長野縣更科郡牧里村に歸省中であつたが十七日午後治安部特務科に嚴父死去の報があつた

池田部長嚴父

元新京署司法係刑事部長池田龍三氏は嚴父善太郎氏危篤の報に十六日郷里佐賀縣佐賀郡兵庫村字北條理田へ歸省中であつたが、十七日午後三時頃死去の旨中央通署に入電あつた

莊重鳴響く〝國の鎭〟 英靈安らかに眠れ

きのふ南京城內に陸海合同慰靈祭

【南京十八日發國通】中支方面戰死者の陸海合同慰靈祭は十八日午後二時より南京故宮飛行場において嚴かに執行された、靈標には「中支方面戰歿者之靈標」なる文字が悲しくも讀まれる、祭壇には海の物山の物が供へられてゐる、陸軍各部隊が軍旗を、海軍陸戰隊が海軍旗をそれ〴〵捧じて整列する內に、定刻畏くも朝香中將宮殿下を始め奉り松井最高指揮官、〇〇兵團長、長谷川支那方面艦隊司令長官、長谷川司令長官が祭主となり、修祓降神の儀があつて兩祭主の祭文朗讀、川越大使代理日高參事官の弔辭に次いで祭主の禮拜あつて後「國の鎭め」のラッパが響きわたるや各隊捧銃軍旗の敬禮が行はれるうちに嚴肅な祭主の玉串奉奠が執行され、最後に昇神の儀があつて同二時半悲しくも盛なる式を了つた、なほこの日祭られた將士の中には戰死した新聞記者の靈も奉祭された

松井最高指揮官祭文

【南京十八日發國通】松井最高指揮官の祭文左の如し

茲に昭和十二年十二月十八日紫金山々麓に祭壇を設け上海軍最高指揮官松井石根恭しく陣歿將士の靈に告ぐ、さきに江南戰火に覆はれるや諸士は勇躍征途に上り或は深讎、堅壘の交錯せる間に力戰勇鬪して君國に殉じ或は長驅急追敵都の攻城に果敢奮戰以て身命を皇國に捧げたり、その偉勳は牢固として青史を飾りその痛忠殉國の至誠は洵に鬼神を泣しむるものあり、惟ふに一身を軍職に奉じ懸軍萬里征路に赴くもの身を鴻毛の輕きに比し屍を馬革に包むは固より男子の本懷これに過ぎざるはなしと雖も凱歌紫金山を壓し歡喜揚子江に溢るゝ秋この榮譽を偕に分ち得ざるは寔に痛嘆措く能はず、更に遺族の上に思ひを致せば惻隱の情轉た禁ずるを得ざるとゝもに弔慰の言葉を知らざるなり、嗚呼悲しい哉、しかりと雖も諸士の忠烈殉國の至情は因つて皇軍の快捷となりさきに上海封鎖完成し今復南京はわが掌握に歸し情勢既に完まり皇軍の威風東西の天地を壓す、諸士以て瞑すべきなり、顧みて考ふるに時局の前途尙遼遠なり、われ等一層奉公の至誠を竭し以て出兵の目的貫徹を圖り堅忍持久誓つて諸士の遺志に副はんことを期す、在天の靈願くばこれをうけよ

長谷川司令長官祭文

【南京十八日發國通】陣歿將兵慰靈祭における長谷川司令長官の祭文左の通り

昭和十二年十二月十八日支那方面艦隊司令長官兼第〇艦隊司令長官海軍中將正四位勳一等功四級長谷川淸謹みて陣歿將兵各位の英靈に告ぐ、さきに事端滬瀆に滋からんとするや、諸士は勇躍征路に從ひ孤壘寡兵克く堅陣衆敵に對し或は彈丸雨飛の下危難に赴き、或は炎天酷熱の下飢渴に堪へ頑敵を排するや義を山岳の重きに置き、大空を征するや死を鴻毛の輕きに比し從容として護國の鬼となる、嗚呼！諸士が昨日の溫容今また睹るを得ず、痛恨何ぞ耐へん、さらに思ひ故山に馳せ諸士が家郷を偲びては流涕轉た禁じ得ざるものあり、然りと雖も征衣を外に纏ひ屍を馬革に包むはこれ武人の本懷、況んやその烈々たる義膽彌々たる武勳萬人齊しく讃仰するをや、諸士が陣歿洵に徒爾ならず、見よ！海陸克く協心戮力作戰洵に適ひて、長驅敵の要衝を壞滅してはその心膽を奪ひ、大軍を潰滅してはその堅壘を屠る、敵將すなはち都を落ち殘兵茲に全からず、敵都既に我手に歸せり、實に前古未だ曾つてあらざるところなり、これもとより上大元帥陛下の神威に依ると雖も諸士が耿々の素志將士を驅りて茲に至らしめたりといふべし、惟ふに敵の首都わが手に落つと雖もこれ僅かに作戰の一段階に過ぎず前途吾等いよく切磋奮勵誓つて諸士が遺風に恪遵し、もつて皇澤を異域に布き東洋平和の礎石を確立せんことを期す、乞ふ、諸士の英靈幸にこれを護れ、茲に敵國首都入城の翌日陣歿將兵の靈を祭るに臨み側恨の忱を捧ぐ、冀くば來り享けよ

南京日本大使館 四ヶ月振りで開く 日高參事官も歸還

【南京十八日發國通】皇軍の入城式で賑ふ十七日正午南京日本大使館の堅く閉されたまゝ錆ついてゐた鐵門が大きく開かれた、日高參事官、歸つて來たのだ、事變勃發後情勢惡化の南京に最後の日本人として踏み止つた末、去る八月十六日屋上の日章旗を降し飾代未聞の籠詰列車で死の脫出をした同參事官が四ケ月振りで歸つて來たのだ、午前十一時半飛行場に着くや直ちに懐しい大使館に入り先遣役の岡崎、福田兩總領事、田中領事館警察官等と落合ふと直に入城式に參列終つて久方振りに城內を視察して午後五時やつと大使館に落付いた、日高參事官は愛想のよい微笑を浮べながら感深く語るのだ

全く感慨無量です、引揚の時の切端詰つた情勢と今の明朗な空氣とを思ひ合せるとき皇軍の强さと正義の湿しさを考へずには居られません、感心すべきことは支那側が案外わが大使館を損傷しなかつたことで被害も殆どそのまゝで割合少なかつたことです、又支那人のボーイ、女中などが全部殘つてゐてわれくを迎へてくれたことは甚だ愉快でした

午後七時參事官は館員、警察官等十數名に圍まれてスキ燒に日本酒といふ南京歸還最初の晩餐に舌鼓を打つた、なほ同參事官は十八日一應上海に赴き事務打合せの後正式に南京に歸任する筈

パ號の遭難者

【上海十八日發國通】パネー號爆沈事件犧牲者サンドロ・サンドリ氏（イタリー新聞記者）外三名の遺骸および負傷者十五名（內十一名重傷）は十七日午後五時四十分遭難現場より急行し來つたアメリカ砲艦ボテス號で上海へ到着した

孫民生部大臣 昨日ひかりで歸京

日本內地における教育社會事業施設等を視察中であつた民生部大臣孫其昌氏は十八日午後十時新京驛着ひかりで歸京したが元氣で語つた

友邦日本の學校教育を始めとして社會事業施設は豫想以外に進歩したものであつた事を見て來ました、しかも事變下の今日何等平時と變りなく全面的に活躍してゐることは我が滿洲國として あらゆる點において學ぶべき手本であると思ふ、滿洲國の教育はこれからであるといふ時に當つて今次の視察は此の點においても非常に爲になつたので喜んでゐる、歸途京城に立寄つて南總督と小磯軍司令官に二年振りにお會ひして回舊談や朝鮮の事情についていろいろお話を承つて非常に嬉しかつた、兩閣下を始め日本の知己の方々が皆元氣で迎へて頂いて心强く感じた次第であります

池田秀雄氏來京

衆議院議員北支經濟調査團一行のうち池田秀雄氏は十九日午前八時の列車で來京田中中銀總裁、草間探金副理事長、岸產業部次長らと會見の豫定

偶語

飢餓線上の人々に溫い救ひの手歲末同情週間は十八日から全市に亘り一齊に開始された▼この催しは共存共榮の社會に於て我々が當然果さねばならぬ義務の一であり▼催しには双手を擧げて贊意を表し努力を拂ふことに吝でないが例年の實例に徵し要救濟者の調査に對しては今一層の努力研究が望ましい▼例へば明日の生活の糧にこと缺くが如きドン底にありながらその前世の社會的地位を顧み外聞を恥じて死線に立つもの▼充分働き得る立派なる身體をもちながら性怠惰なるため救濟を待つてゐるもの或は他人の同情を求めることを一種の仕事としてゐるもの等々▼要救濟者は日鮮滿種々雜多であらうが各の實際に即し按配することが眞の目的を達成することになるのではあるまいか▼日頃の身持ちが惡いめ赤字ボーナスにヤケ酒をあふる大の男があれば初めてのボーナスをそつくりそのまゝ國債にかへるタイピスト孃がゐる▼悲喜明暗の諸象をのせて國都は新しき年に向つて突進してゐる

社説　新民會への期待

一

抗日讃政權者流が北支から撤退した後に、中華民國臨時政府が誕生した。われ〳〵はこの新政府がその施政の萬端に於いてよく時務の要とするところに從ひ支那國民の福祉のために新鮮にして内容ある政治を布くことを信じてゐるのであるが、しかしこれまで國民黨の諸組織が社會の隅々にまで喰ひ入つてゐたことを思へば、更に新事態に應ずる適切な新しい社會組織のための仕事がなさるべきであらうことを考へざるを得なかつたのである。果然、かゝる要求を充すものとして新民會なる政府支持、民衆指導のための新團體が生れやうとしてゐる旨が報ぜられてゐる。

二

報道によれば、この新民會は、新民精神に即し新政府を支持し共産主義を排撃し道義國家社會を建設し民生の福祉増進を圖ることを目的とするものである。而してその事業としては、國民教育の善導、新時代が必要とする文化戰士の養成、罹災民の救恤、醫療機關の普及、新民當の設置等を行はうとするものである。國民教育の善導といふことが第一の目標に掲げられてゐることは大いに注目するに足るであらう。すなはち、排外抗日教育を徹底的に清算し、必要な學校教員を養成し交換教授等を行ふといふのであるが國民黨の統治以來執拗に施された偏狹な排外主義教育の所産を徹底的に清算するといふ仕事は當面になさるべき新政府下の最大の任務であるであらう。而してこのためにはひとり政府機關にのみこの仕事を委ねることなく、新しく生れやうとする新民會の如き團體がその任務を分擔し必要なる時處に、また最も效果的な方法によりこれを遂行することが極めて肝要であるであらう。新しい教育の實施、その目標は極めて簡潔明瞭であるが、その實際の仕事は甚だ多端複雜であり、充分なる用意をもつて持續的にこれを遂行せねばならぬ。われ〳〵はこの點に於いて新團體がその事業達成に充分の成功をなさん事を祈らざるを得ない。

三

その他の事業にたいしても、徒らに高遠な理論などを説く代りに、極めて實際的な方策が掲げられてゐることは、新團體の着實味を示すとゝもに國民一般からも大いに好感共鳴をもつて迎へられるであらうことをも豫想せしめるのである。單的に言ふならば、徒らなる理論に弄つて現實を見忘れたところに、舊國民黨の重大な誤謬があつたと言ひ得るであらう。現實に事態の上に着實に立つ新政府下に於ける民衆の組織はまた最も着實な行き方で進まねばならぬ。掲げられた目標に充分この着實味を見得ることは將來の成功をも約束してゐると思ふ。

防共關係諸國と親密な外交關係

新春早々大展開を示さん

【北京十八日發國通】中華民國臨時政府は外交政策の根本基調を東亞道義の發揚、世界友邦との敦睦增進に置き、國家體容の整備を俟つて逐次諸外國との間に修交通商關係を結ぶが、既に新政權の成立に祝意を表し來つた滿洲國、日本ならびにその成立に多大の好意を寄せてゐるドイツ、イタリー兩國政府との間には比較的早く外交關係の新展開が可能であり、或は新春新政府の機構整備完了の頃には第三國による正式承認が實現するのではないかとみられ、新政府の外交事務を管掌する行政部はこれが新展開に對處すべく着々準備中であるが、大體つぎのやうな用意をもつて新政府、列國との外交關係の進展をみるものと觀測される

一、對日關係

新政府成立當日の議政委員會委員長湯氏の談話によつても新政府が日本との眞の提携融和を衷心より熱望して、日本政府が進んで新政權を承認の措置に出でることを期待してゐる、新政府は未承認期間内と雖も日本との友好關係調整に必要なる具體的措置を講ずる準備を有する

一、獨伊關係

共産主義の絶對排除が新政府の國是の重大なる一をなすことは成立宣言に明瞭である、獨伊兩國は日本と同じく防共を國策の樞軸とし、さきに右に關する協定を締結したが、新政府の國是と全く一致し、且つ中華民國と少からず關係を有する兩國が、近き將來に新政府の正式承認の擧に出づることを期待する

かくしてその他の一般列國との親善關係の締結をも希望することと大なるものがあるが、その實現の時期は遲延を免れぬものと觀測してゐる、なほ在外中國使臣に對しては新政府の成立を通電し、その指揮監督下に入るべき旨を勸請することになつてゐる

新政府に協力　新民會を組織

民衆の福利增進を期す！

【北京十七日發國通】中華民國臨時政府は過去十餘年に亘り國民黨政權の惡政によつて困窮のどん底に陷つてゐる民衆の福祉を增進し腐敗した綱紀、地に墜ちた道義を再建するため國民の綜合力にまつもの大なるものあるを認め近くその指導精神を一般國民に闡明し民衆の協力を要望する模樣であるが、一方民衆の間にも國民黨治による積弊を一掃すべく敢然立つて新政府を支持しその理想の達成に協力せんとする意向が極めて熾烈で近く同志會によつて政府支持民衆指導の協力團體が結成される機運を示すに至つた、即ち新民團體の目標とするところに墜落せる三民主義、國民黨の壓政を排撃、その歪められた教育を是正し明德新民の輝かしき傳統にたつて道義國家社會の再建に資ぜんとするもので近く嚴肅なる發會式を擧行、新天地創造へのスタートを切ることゝなつた、新團體の名稱その他大體次の如く決定、發會式終了と共に活動を開始の豫定である

一、名稱　新民會と稱す

一、目的　新民精神に則し新政府を支持し共産主義の排撃、道義國家社會の建設、民生の福祉增進を期す

一、事業

イ、國民教育の善導、舊政權による排外抗日容共の教育を徹底的に清算してこれが必要なる學校教員の招聘、交換教授その他施設の整備運營

ロ、共産主義の排撃、國民黨專制の排除、文化研究機關を設け防共の大義を確立し反共の戰線に活躍する戰士を養成する、國民黨專制の弊を清掃し、道義國家建設の理想を宣傳し民衆を指導する

ハ、水災、戰禍罹災民の救恤、水災、戰禍に惱む罹災民の上に救恤の手を差延べ施粥必要物資の給與を行ひ新政府の恩澤に浴せしむる

ニ、貧民病院の開設、醫療機關の不足に苦しむ民衆のため新たに公益を指導する貧民病院を各所に開設し困窮者には無料の施療をなす

ホ、新民當（質屋）の經營　北支農民は多く高利貸資本によつて窮乏のどん底にあるので低利の質屋を經營して民衆の負擔を輕減する

山西省臨時政府　近く新政府に合流

【太原十七日發國通】山西省臨時政府が太原城内舊法學院跡に設立されて以來城内の狀況は俄然一變し民心も頗る安定して來たが、特に正太、同蒲南鐵道の開通によつて物資の供給も潤澤となり治安は完全に維持された、檢次ほか二縣も逸早く臨時政府を設けそれ〴〵縣長を推戴し昔陽、壽陽、陽曲、磁縣等十數縣もこれに倣ひそれ〴〵縣政府が設立され治安維持、窮民救濟、戰後經營等にあたり大いに治績をあげ面目まつたく一新してゐる、しかして山西省臨時政府では中華民國臨時政府に滿腔の敬意と謝意を表し山西は欣然としてその治下に入る用意ある旨の通電を發し新政府に合流の意思を正式表明し近日中に代表を北京に派し王克敏氏以下の政府要人と會見し祝意を表すると共に新政府の指令を仰ぐことゝなつた

生活必需品を當分無税

新政府で暫行關税設定

【北京十七日發國通】中國臨時政府は現行關税の根本的改正に至るまでの暫定的措置として未曾有の水害戰禍に惱める北支各地の窮民濟救及び經濟恢復を圖るため約十種類の生活必需品及び復興材料を選び當分無税輸入又は五割程度の關税引下げを實施する方針で目下鋭意調査立案中であるが成案を得次第兩三日中にこれを發表することゝなつた、しかして右無税輸入又は關税引下げの適用される品目としては米及び籾、雜穀、麥粉、砂糖、海産物、煙草、紙、石油、セメント、トタン板等が考慮されてゐるやうである

江南經濟復興に　復興會社設立か

【東京國通】上海方面では今回の事變によつて可成りの打撃を受けた同地方の經濟復興のため復興會社を設置せんとする議が關係方面において有力となつてをり、恐らく實現するものと見られる

國防皇軍慰恤献金品（本社取扱）

一金一萬三千百八十三圓三十一錢五厘（關東軍司令部）
一慰問袋千三百三十二個（同）
一金二千七百六十三圓二十七錢（駐滿海軍部へ）
累計　一万五千九百四六圓五八錢五厘
……十二月十八日正午迄の分……

するやうなことはあるまい勿論增強するとすれば戰鬪艦でも何でも持つて行くことは出來るが、これ等の艦艇を派遣する迄には政府として凡ゆる角度から愼重に情勢を檢討した上で增派されることゝなららう

ソ聯總選擧　投票集計

【モスクワ十七日發國通】最高ソヴイエト選擧中央委員會は遠隔の地方から到達した投票成績をも加へ運行中の汽車汽船での投票を除き十六日全聯邦内の總選擧投票數集計を完了、十七日左の如く最終結果を發表した

聯邦ソヴイエト會議代議員候補贊成投票八千九百八十四萬四千二百七十一票（全投票總數の九八〇・六%）選擧法九十條による無效投票數六十三萬六千八百八票、右の外候補者氏名は投票用紙から抹殺して明確な反對意思を表明したもの六十三萬二千七十四票
民族會議ソヴイエト代議員候補者贊成投票八千九百六萬三千百六十九票（全投票數の九七・八%）無效投票百四十八萬七千五百八十二票
候補者氏名を抹殺した者五十六萬二千四百二票

（前承）安維持會聯合會も解消するに至つたので十七日午後三時懷仁堂に北京地方治安維持會全體會議を開催、同會が管理運營し來つた一切の機關を臨時政府北京特別市に移讓、滿場一致同會を解消するに決定した、かくて去る七月二十九日結成以來幾多地方治安維持に輝かしき功績を殘した同會は四ケ月餘にしてこゝに解消されるに至つた

華北産業科學研究所北京に移轉

昨年夏外務省文化事業部の經營により青島に設置された華北産業科學研究所は今次事變により青島を引揚げ今回北京に移轉、内容を擴充、所員も百名近くに增員する事となりすでに所長心得江角金五郎氏は赴任したが、十七日入港黑龍丸で同理事庶務課長高木長京氏以下六名が來通十八日赴任するはずである、高木理事は語る

北支明朗化と共にわれ〳〵の仕事も非常にやりよくなり、北京移轉により大々的に活動する、第一着手は北京に農事試驗所を設置し棉花事業を中心に支那農民の指導にあたることになつてゐる

入城式映畫空輸に　驚異的翔破新記録

南京―福岡間三時間五十四分

【東京國通】十七日行はれた世界史上輝しき一頁を印する皇軍南京入城式の盛觀は同盟通信社特派員によつて餘す所なく撮影された、松井軍司令官以下の國民政府進入迄の情景を收めた寫眞及び映畫フイルムは直接に南京郊外〇〇飛行場に待機せる日本航空輸送會社小川飛行士操縱、大村飛行士同乘のダグラス機に搭載十七日午後二時廿九分（日本時間）同飛行場を出發、危險を冒して最短進路をとり揚子江の北岸に渡り敢然敵陣上空に現れ高射砲、機銃、小銃の射撃を受けながら江蘇、浙江省境附近を突破、快晴の東支那海上を一氣に福岡に向ひ、快翔を續けて夕陽沈む同六時廿三分無事雁巢飛行場に到着

南京―福岡間一千百キロを僅か三時間五十四分の驚異的短時間で翔破新記録を樹立して記念すべき空輸を完了、さらに午後七時四十一分福岡飛行場を出發一氣に東京目指して飛翔、月明ながら向ひ風で難航を續け午後十一時六分羽田飛行場に無事着陸、こゝに南東―東京間二千卅五キロを翔破輝しい皇軍南京入城を目撃した最初の人として晴れの入京をした

聯盟脱退に伴ひ伊國人全部辭職

政府から勸告狀發せらる

【ジユネーヴ十七日發國通】聯盟イタリー代表ボバス、ホツバ氏はイタリー政府の聯盟脱退ならびに國際勞働機關脱退決定に伴ひ、十七日午後聯盟事務局ならびに國際勞働事務局に勤務するイタリー人十五名を招致し即時辭職を勸告した、すでに右の中四名は辭職してをり、他のイタリー人も殘務整理を終り次第辭職するものと見られる

伊政府さらに　國際勞働機關も脱退

【ジユネーヴ十六日發國通】イタリー政府は去る十一日國際聯盟を脱退したが、チアノ外相は十六日更らに國際勞働機關からも脱退する旨國際勞働局長バツテラー氏宛に電報を以て通告した

英極東艦隊增強を考慮

デイリー・テレグラフ報道

【ロンドン十六日發國通】デイリー・テレグラフ紙は英國政府は英艦砲撃事件を契機として在支英國東洋艦隊を增強し極東に常駐する英國海軍力を強化する案を愼重考慮中である旨左の如く報じてゐる

政府は極東の事態に鑑み目下支那艦隊の增強を考慮中である、但し今直ちに實行

北京地維解消

【北京十七日發國通】北京地方治安維持會は事變以來治安の恢復、北京地方行政組織の再建運營に努力、天津地方治安維持會と提携して聯合會を組織し京津地方を中心とする行政事務一切を管掌し暫定自治機關として多大の貢獻をなし來つたが、去る十四日待望の臨時政府成立し京津地方治（以下前承へ）

上海の東本願寺別院に　梵鐘を寄進

【京都國通】東本願寺上海別院は明治六年開教以來日本人會文化事業の中心として多大の功績を殘して來たので、上海居留民團では昨年の同別院開設六十周年を記念し鐘樓建設費として千五百弗を寄進した、右鐘樓に掲げる梵鐘は口徑二尺四寸、重さ百廿貫、京大名譽教授松本文三郎博士撰文並びに揮毫になり、過般來京都において製作中のところこの程見事に完成したので十八日神戸を發送、同別院に輸送し戰火全く收つた上海の街に除夜の鐘を響き渡らせることゝなつた

北支難民救濟に　鐘紡一萬圓寄附

【天津十七日發國通】戰火と水害に惱む北支民衆救濟の聲はます〳〵昂まり善隣の難民を救へと遂に最近では滿鐵が率先して軍當局を通じて廿萬圓を寄附したが今度は鐘紡が難民救濟の一助にもと一萬圓を太沽治安維持會に寄附し太原の民衆より感謝されてゐる

重要特産物檢査規程（三）

第二節　規格標準

第一款　大豆

第廿四條　檢査一口の數量は三百五十二袋又はその未滿とす、但し白眉大豆にして六〇瓩入麻袋入にありては五百袋又はその未滿とす

第廿五條　包裝は麻袋入とし麻袋及び口縫は左の各號によるべし

一、八五瓩入麻袋

1、麻袋は標準品と同等以上の品質を有する縫目約一〇一個、重量約一・〇瓩の鐵色一筋入のものにして裏返にあらざるもの

2、口縫絲は標準品と同等以上の品質を有する五本撚以上の麻絲

3、口縫は麻袋口を二つ折とし口縫絲二本を以て一方より二十針以上捲縫したるもの

二、六〇瓩入麻袋

1、麻袋は標準品と同等以上の品質を有する縫目約九四個、横約五六個重量約〇・八瓩の無印のものにして裏返に非ざるもの

2、口縫絲は標準品以上の品質を有する五本撚以上の麻絲

3、口縫は麻袋口を二つ折とし口縫絲二本を以て一方より十五針以上捲縫したるもの

麻袋に分ち一口中に新舊麻袋の混在せるときは一口全部を舊麻袋と看做す

施行規則第十一條但書の規定により産業部大臣の許可を受けたると否とを問はず商標その他の標記を附したるものにしてこれを抹消したるものは舊麻袋とす

第廿六條　一袋の重量は左の各號に定むる基本重量と增量との和とす、但し檢査總袋數の平均重量がその規定重量以上ある場合に限り檢査總袋數の六分一までは袋の重量が八五瓩麻袋入のものにありては〇・三瓩以内、六〇瓩入麻袋入のものにありては〇・二瓩以内不足あるを妨げず

一、八五瓩入麻袋入黄大豆、改良大豆、白眉大豆

1、基本重量　風袋共八五・一瓩

2、增量　一袋に付十月一日より翌年三月末までに檢査を受くるとき〇・三瓩以上、四月一日より九月末日までに檢査を受くるとき〇・六瓩以上

二、六〇瓩入麻袋入白眉大豆

1、基本重量　風袋共六〇瓩

2、增量　一袋に付十一月一日より翌年三月末日迄に檢査を受くるとき〇・二瓩以上、四月一日より九月末日迄に檢査を受くるとき〇・四瓩以上

第廿七條　品質調製及乾燥の標準は左の各號に依るの外石、土、豆殼其の他の夾雜物の混入黄大豆及改良大豆に在りては千分の十五以上、白眉大豆に在りては千分の十以下とす

一、黄大豆

特等　品質調整　特別標準以上に該當するもの　乾燥　水分含有率百分の十三以下のもの

一等　品質調整　一等標準以上に該當するもの　乾燥　水分含有率百分の十三以下のもの

二等　品質調整　二等標準品以上に該當するもの　乾燥　水分含有率百分の十三以下のもの

三等　品質調整　三等標準以上に該當するもの　乾燥　水分含有率百分の十四以下のもの

四等　品質調整　四等標準品以上に該當するもの　乾燥　水分含有率百分の十五以下のもの

二、改良大豆

特等　品質調整　特等標準品以上に該當するもの　乾燥　水分含有率百分の十三以下のもの

一等　品質調整　一等標準以上に該當するもの　乾燥　水分含有率百分の十五以下のもの

二等　品質調整　二等標準品以上に該當するもの　乾燥　水分含有率百分の十五以下のもの

三、白眉大豆

品質調整　標準品以上に該當するもの　乾燥　水分含有率百分の十四以下のもの

第廿八條　各袋の口部には第一號標式の名票を封入せるものたるべし

一、夾雜物

一分間三千回轉の遠心分離機に依り三十分間振盪したるときの沈渣容量に於て〇・四%以下のもの

外觀及他油混合

鑛物油性螢光明かならざるもの又は他の僞和物の混有なきもの

沃素價

ウイス氏法に依り一三〇乃至一四〇のもの

鹼化價

一九〇乃至一九五のもの

屈折率

アッベ氏屈折計攝氏二五に於て一・四七三〇乃至一・四七五〇のもの

不鹼化物

石油エーテル法に依り一・〇%以下のもの

新京取引市況（十八日後場）

	寄引	出來高
大豆	三、〇三 三、〇四	三車
高粱	― ―	―
小豆	― ―	―
玉蜀黍	二、八〇 ―	一車
●大豆 十二月限	三、〇四 三、〇四	一〇車
一月限	三、二〇 ―	八車
●高粱 十二月限	― ―	―
一月限	一・〇 ―	―

手形交換高（十八日）
二六六枚　三六六、二三〇、三六

滿鐵附屬地卅年史

白菊小學校 沿革史 (廿七)

(上) 体育、衛生に關する事項

体育に關する事項

1、體育用具の整備

イ、室內體育設備

懸垂　肋木 三一間　吊繩 三〇本　吊棒 一〇本　鐵棒 三間

跳躍　跳箱 二台　バック 三台　踏切板 三個　スプリングボード 一個

球技　ヴアレーボール柱 一對　ヴアレーボールネット 一組　バスケットボール 一對

其他　體操用マット 六枚　平均台 四台　腰掛 三五個　繩跳用繩 三〇本　輪投 二組

ロ、屋外體育設備

懸垂　肋木 一五間　積木 六間　鐵棒 五間

跳躍　低鐵棒 三〇台　高跳台 一台　砂場 二所

球技　ヴアレーボール柱 一組　ヴアレーボールネット 一組　ハンドボールコート 一所　ハンドボール柱 二組

走技　審判台 一台　走路 二〇〇米　スタートピストル 二個　ストップウオッチ 三個

其他　障碍物用網 一張　指揮台 一台　メガホン 二個　紅白大毬 一對　球入籠 一個　ダルマ落台 一對　ダルマ 一對　ライン引器 二個　空氣入ポンプ 二個　曳綱 一本　巻尺 一個　ジヤムグルジム 一台

體力測定器　肺活量計 一　背活量計 一　握力計 一

2、課外運動及其の奬勵

イ、職員運動

「全校の健康も明朗も職員より」との信條の下に白菊教育樹立に身心を獻げて邁進して來た、毎週土曜日を、職員運動日と定め暖季から夏季に於ける野球練習は實に勇壯なものである、年長は五十歳の坂を越えたものから年少二十四才を交へての戰ひで、老若汗を流しての必死の戰鬪が行はれる或時は老若の對抗或時は地方別、學年別の對抗等何れも見事な試合を現出する

秋季から冷氣にかけては室內に於けるヴアレーボールこそ好適の運動である、球に馴れ易いのと優劣の別が比較的少く愉快の中に競技が進められる此の試合では年長組と年少組との對抗が最も興味多く、一進一退互に激勵飛躍する樣は眞劍其のものである

冬季のスケートは滿洲が有つ體育中誇りとするものだけ全くやらない者はない、勿論巧拙の別は有れども各自技を振ひ戶外生活の率先者である

野球、排球、氷滑は職員運動の最たるものとし練磨を續けて居るが唯校內だけに留らず外部との對抗もやり其の意氣や相當なものである、學校體操に必須な教材練習會、講師の指導を仰ぐ等は言はずもがなで、兒童の動く所必ず職員あり、共に修養を怠らず健康へ健康へ目指して居る

ロ、兒童運動

【春季運動】雪解を期として戶外運動が盛んになつて來る、今まで室內に閉ぢ籠り勝ちであつた日常が廣い場所で思ふ樣活動することが出來るとは何たる喜びであらう

「お山の大將ごつこ」校地の傾斜を利用して兩軍に別れ一軍は山の嶺邊に一軍は坂下に陣地を占め突擊隊の一團が攻め上る上らせまいとして防ぐ、取つ組んで坂を轉がる。白熱化す、斯うして互に全身は土にまみれて戰は攻め防いで陣地を占領さるれば上下交代すると言ふ勇壯な遊戲である

節句運動會(五月五日)新學期の當初として規律的な統制有る好時機として各種運動の練習が行はれる、兒童の言ふ「運動會」といふのは徒步競走で、全校を通じランニングの競技が盛で幾組もの團體が技を爭ふ、當日ともなれば今まで一ケ月間に得た腕を表はして元氣一ぱいである

低鐵棒奬勵滿洲兒童の胸廓發達が劣つてゐることは充分知つて居りながら正常にまでは中々努力が奮ひかねる、何と言つても不斷の努力に越ゆるものはない、低學年より各種教程を目標に猛烈な練習が繰返される

其他本シーズンの目標として定められるもの、長距離競技會、體力測定、滿洲建國運動會である

【夏季運動】本シーズンで最努力點は「裸體育奬勵」で教師も兒童も共に裸體、どの軀を見ても何の顏を見ても健康色其のものである、綠の草の上で思ひ樣大氣を吸ひ、活動を續けて疲るれば木陰に休み生氣を養ふ

此季の角力こそは男兒に喜ばれるもので學年對抗試合は實に激烈火を發する仕末である

水泳は本校より一粁の地點にプールがあるので團體入場券を持つ學級單位で實施す

【秋季運動】秋季體育會は全學年を通じての最大行事と言はねばなるまい單に技術の優秀であることを望むのでなく、日常の學習訓練體育の總發表と考へ學校一致統制ある演出を期して居る

種目中職員も兒童と共に演技することにして居り多數父兄の參加をも得て愈々體育會の氣分を和らげてゐる

球技大會を目指して全校一齊に球技熱を旺にす、下學年のドッヂボール上學年のハンドボールは殊に目覺ましく學年學級の試合に懸命である。女子のヴアレーボールも相等の技を爭つて來た

鐵棒跳躍の競技會を備へて本シーズンの結びとして體操會をも實施して冬季の體育に移る

【冬季運動】滿洲冬季體育としては何といつてもスケートである、戶外生活の必要を痛感しながら氣溫零下二十餘度を示す北滿に於ては稍もすれば不足勝であるが、興味ある適當な運動の中に不知不識戶外生活の目的を充分達し得る

リンクは一周三〇〇米を校庭に造るのだが、先づ土手造りを手初めに次々に作業が續けられる、此のシーズンを通して總て作業は職員兒童共同努力の結晶であつて他の手を借りずに造りあげて行く事は何としても强味である、土手造りには約一ケ月間を要し愈々水入となれば氣溫の高い時は駄目で零下十五度位の機を見て實施す日中は餘り効果的でないので、夜中に行ふのだが完全に一周することが出來るまでには水入を重ねること七夜位を要す、全身にしぶきを浴びて、冷氣と戰ふ樣は全く悲壯である、愈々スケート實施となれば一週間に一回の水入をして絕えず修理を必要とす

毎日必ず一回以上スケートすること―實施したか否かは教室に記入表を備へて居て兒童各自記入す、之は實に効果的である

レコード會―各學年を單位として一ケ月一回位は記錄を作つて自己の技量進展に努む多い所は月に二三回は取つて居る

スケート會(校內)―シーズン中三回低學年(尋一、二)中學年(尋三、四)上學年(尋五、六)より夫々選手を出して、種目別の對抗試合をなして、優劣を競ふ、渦に眞劍で他兒童は我軍の勝利を期して應援盛に力むる盛會さを呈す

奉天省內教育の一大刷新を企圖

新學制に準據して

奉天省公署ならびに奉天省教育會では明年一月實施される新學制に準據して省內教育の一大刷新を企圖、着々計畫を進めつゝあるが滿洲國の意圖する農村教育と實業教育の充實に主眼を置き明年度の新方針として一村一小學校主義の確立及び教員の素質向上と日本人教員の增員配置に邁進することゝなつた、すなはち現在奉天省內小學校は約八千校に上つてをり一村に數校存在するのが普通なのでこれを整理統合充實せる一村一校とならさんとするものである、しかして急激なる改革は困難を伴ふので暫定的に村內主要部落に本校を、小部落に分校を設け徐々にこれを整理統合する方針を執つてゐる、又教員數も目下一萬弱に過ぎず從つて八千校のうち約八割、六千四百校は一校に教員一名といふ狀態にあるので、將來これを增員すると共に最小限度一村一名位の割合で日本人教員を配置して教育の刷進向上を圖る方針をとつてゐる、現在奉天省內中等學校に配置されてゐる日本人教員は百六十名で明年度において四十名を增員奉天市內小學校にも二、三十名を增員する外明年度一月民生部において三百名の小學校教員を內地より採用するのでこのうち七、八十名が奉天省に配屬される模樣である、尙日本人教員の配置と同時に教員の素質向上策として省下中小教員を奉天に招致、頻繁に講習會を開催、教員の再教育に資することゝなつた

市民忘年藝術大會

演奏名曲解說 (二)

(四)序曲「セヴイリアの理髮師」

ロッシニー作曲

名高い歌劇「セビリアの理髮師」はボーマルシエの三部劇に基きステルビーニの台詞にロッシニー(一七九二―一八六八)が作曲した作品である初演は非常な酷評を受けたが次第に聲價を擧げ遂に彼の傑作として定評あるに至つた。作曲者は全曲を僅か半月で完成したといふ。その旋律の豐さと輕妙なユーモアと華麗なクライマックスとは古今の歌劇中に異彩を放つて居る。歌劇の筋は頗る簡單である。アルマヴイヴア伯はロジナを愛してゐる、このロジナには後見人のバルト博士が付いてゐて、これが亦彼女と私かに結婚を望んでゐる、アルマヴイヴア伯は村の理髮師で苦勞人のフイガロを說いていろんな障害物やバルト博士の策略を見破つて結局二人の戀人は結婚することになつた、曲は先づ管樂器とバズーンの哀哭する樣な緩やかな樂句を以て初まり、やがて全絃樂器の奏する快活なアレグロの主題に入りフリユートが短調の旋律を採る。輕快な對位法の展部二つの旋律が交互に奏出されて巧みに纏れたり、解れたりする。全曲は活潑な律動と精氣に滿ちた旋律とで、花苑をめぐる如く彩られる。

(五)歌劇「椿姫」

ウエルデー作曲

古今の歌劇中で物語りの悲しみと、それを誘ふ多くの哀婉なメロデーに滿ちてゐるのとで、最も美しい人氣のある名作の一とされてゐる。ヴエルデーのものでは「アイーダ」「リゴレット」と共に三大傑作の一である。」餘りにも有名な曲で梗概は諸兄姉の既に知悉の事と思ふから省略す。

(六)樂劇「ローエングリン」中の間奏曲

ワグナー作曲

本日演奏する間奏曲は歌劇「ローエングリン」の第三幕の前奏曲とも云ふべきもので、此曲は「第一幕前奏曲」と並び稱せられる「ローエングリン」中の双璧で、よく演奏會の曲目にも選ばれワグナーの作品中傑作の一に數へられてゐる名曲である。先づ曲は嬉げに迸發する絃、木管、それから眞鍮管樂器の奏音―シンボルの響―その重疊する彩華の中を太く大きくうねつて行く豪壯なトロムボーンの主題―これが中央部に來ると、絃と管の奏する女性的な優美な樂行となり―後半に至つて再び前の雄渾な諧調が平押しに立還つて來る。全曲に亘りこれ程大規模で壯麗な宴樂氣分を出した祝婚の音樂は古來稀れだと謂はれてゐる。」

(七)エグモント序曲

ベートーウエン作曲

「エグモント」序曲は十二種あるベートーヴエンの序曲中「レオノーレ」と共に最も名高いもので、且つ「レオノーレ」よりも纏りがよく、より純音樂的な美しさがあるとせられ、古今の序曲中でも最大の逸品として批評家の絶讃を博してゐる。此序曲は「恐怖の豫感に先立つ心臟の鼓動と茫漠とした怖れとの凝晶である」といふ定評があり、又リストはこの曲を「ベートーヴエンが大詩人の言葉から受けた靈感を描き出した最初の一例だ」と評した。ゲーテの悲劇「エグモント」はスペイン王の虐政に苦しむフランダースの貴族エグモンド伯の反抗と悲劇的生活を描いた歷史的であり、その劇筋は序曲にもよく暗示されてゐる。即ち初めに力强い悲歎が描かれ、次に飜起する人民の聲となり、最後に荒々しい歡喜が現はれる。曲はアンダンテの短い序奏部から全絃で力奏されるサラバンドテムポの主題となる次のアレグロは主として二つのテーマから成立ち、之が展開してクライマツクスに達し樂聖の不退轉の精神と畏怖の心の征服とをそのまゝに示す終局部に於いては新しい旋律が現はれ、管絃總合奏となつてベートーヴエン自らが述べた「勝利の交響曲」の迫力と莊嚴さとに漲り、「愛國の熱火を以て燃ゆるが如く」奏される。」

(八)未完成交響樂

シユーベルト作曲

未完といふ名稱がある爲めに彼の死がその完結を阻止した樣に考へられ勝ちであるが、事實は彼の死の六年前に製作されたものである。彼の最大ハ長調交響曲もその後に製作されて完結してゐるのである第三樂章は百三十小節近くもピアノ譜で原稿が書かれ、最初の九小節は完全に管絃樂のスコアに書かれて居るのを見ても彼は之を全然放棄しようとは思つて居なかつた樣であるが、其後を得ずして不飯の運命に羅致されて未完の名を永久に殘す樣になつた。氏の最初の二樂章が完結されたのが千八百二十二年の十月三十日である。そして初演されたのは實に作曲者の死後三十七年の千八百六十五年十二月十七日であつた。氏の交響曲は長調と共に否寧ろ之以上に或はたゞ一つの例外として全く彼の近づき得なかつた最高領域に到達して居ると考へられる。實にその前後に於いてシユーベルトを惱まし續けた特徵的なロマンテイックなメロデイックな缺點からも此未完だけでない、寧ろ他の作品には巧みに免かれてゐる。それは見出せなかつた交響曲に對する能力を著しく表示してゐる。その點から見てもこの曲は彼の八曲の交響曲の中で最も近代的意義を含むものである。勿論雄渾氣魄には乏しいが、シユーベルト臭を脫し主題としても形式としても名作たるを失はないものである。

(九)「眠れる佳人」中のワルツ

チヤイコフスキー作曲

チヤイコフスキーは圓舞調に非常な興味を抱き、從つて容易に然も敏速に美はしい圓舞曲を創作した人である。これは特に際立つ特徵である。「花の圓舞曲」は世界到る所の管絃團の演奏目錄中に含められ……また偉大な「第五交響曲」の中にも圓舞曲の樂章がある。組曲「眠れる佳人」も亦―「胡桃割り」と同樣―圓舞調を以つて終結する。これは確かにチヤイコフスキーの創作した凡ての音樂の中でもいちばん美しいものゝ一つである。

(十)陸軍行進曲

シユーベルト作曲

この行進曲は行進用でなく演奏用としてのもので非常に愛好されてゐる。ソトリオの艶麗優美なメロデーは何人をも引付ける魅力あるものである

特殊輸送警備に

沿線住民の泪ぐましき協力

輝し!銃後の日滿一体

今次事變勃發に伴ふ特殊輸送に際し滿鐵社員はいふに及ばず鐵道沿線に居住する日滿國民の獻身的協力に對しては關係當局もいたく感激してゐるが、殊に奉山沿線皇姑屯、大虎山、錦州、山海關各驛の警備團員及び愛護村民は事變發生以來殆ど不眠不休鐵道警備に當り淚ぐましい奮鬪を續け中にも過勞の餘り病を得て死去したもの負傷したもの三十四に及ぶといふ有樣で、この銃後の支援により今次特殊輸送中唯一度の事故も發生せずして順調に行はれたのであつたこの日滿一體となつての銃後の協力に感激した奉天〇〇部隊では今回前記各警備團員並に沿線各愛護村民に對し表彰狀を送つてその勞を犒ふとゝもに心からの感謝の意を表すところあつた

鐵道運送規則統一

鐵道總局では鐵道業務の一元的運營確立の見地から從來社線國線及び朝鮮線各別に制定されてゐた旅客及び荷物運送規則同取扱手續並びに社國線北鮮間直通運送規定を廢止し新にこれ等諸規定を統一改正せる新鐵道旅客及び荷物運送規則同取扱手續を制定すべく過般來種々研究を進めて來たがいよ〳〵成案を得るに至つたので明年一月一日より實施することに決定この程正式に發表されたがそれに依ると

一、極力在來の取扱方法を尊重し廣範圍に亘る改正を避けること

二、旅客運賃率は取敢へず現行通りとし將來適當の機會にこれを統一すること

三、現地中心主義に則り鐵路局長及鐵道事務所長の權限を擴大し本規定の運用に便ならしむること

の諸點に留意して改正されたもので旅客及び荷物に直接關係ある改正要項を示せば左の如くである

一、迴遊乘車券制度を社線及北鮮線にも適用する、迴遊乘車券とは片道又は往復乘車券を以て乘車し得ない區間に對し發行する乘車券で右實施により新京發大連行の旅客は途中撫順、營口、旅順經由大連行迴遊乘車券を一括して發驛で購入し各區間毎に其の都度乘車券を購求する手數を省き旅行出來ることゝなる譯である

二、國線における異級連絡乘車券制度を擴張し旅客の希望により任意の區間を任意の等級で乘車し得る乘車券の發行をなす、從來國線における異級乘車券は乘車區間の一部に旅客の希望する等級の無い場合に限り他の等級によつて乘車することを認めてゐたが、今回の改正により旅客は任意の區間を任意の等級で乘車することが出來る

三、國線區間に普通定期乘車券制度を設け大都市近郊在住旅客の利便を圖つた

四、學生定期乘車券運賃を改正し從來の均一運賃を地帶運賃とし乘車距離と運賃額との均衡を圖つた

五、從來二、三等旅客に對してのみ適用されてゐた普通團體割引制度を擴張し一等旅客に對してもこれを適用することゝした

六、寢臺車區分室(コンパートメント)に對する貸切運賃を制定し晝間における貸切にも應ずる

七、列車出發前における寢臺取消手數料を從來の半額より三割に減額した

八、乘車券引換證制度を廢止し旅行券の利用を以てこれに代へた

九、乘車中他の列車の寢臺を豫約し得る制度を設けた

十、國線に小荷物要償額表示制度を實施し商取引の便に供した

十一、商品見本制度を廢止し同時に商品を手荷物として取扱ふことゝした

十二、小荷物の重量制限を五十瓩から百瓩に擴張し食料品その他急送を要する荷物の運送に便ならしめた

十三、家具及び空容器に對する運賃を低減し通常小荷物運賃を適用することゝした

十四、附隨小荷物に對する制限を緩和すると共に途中取卸の取扱を實施し、且つ行商品運賃を通常小荷運賃に低減し以て附隨小荷物の利用を容易ならしめた

なほこれと同時に貨物運送規則並に他運輸機關との聯絡運輸規定も根本的に改正統一し同樣明年一月一日より實施することゝなつてゐる

貿易協會長

松原鮮銀總裁に決定

【京城支局】朝鮮貿易協會では十四日の理事會において後任會長につき協議したが、滿場一致松原新鮮銀總裁を推薦することに決定直ちに東上中の松原氏に打電承認を得ると同時に更に總督府に承認方申請をなしたので近く同氏の正式就任を見ることになつた、尙副會長は松原氏の會長就任後同氏の意向を徵した上明年一月早々の理事會で決定又辭事故藤田米三郎氏の後任は當分缺員のまゝとし明春三月の總會で補選することになつた

特產中央會理事會

滿洲特產中央會第廿八回理事會は十五日中銀クラブにおいて開催されたが、附議事項中ドイツ國商品監理官及び油房聯合會代表の滿洲特產經濟視察招待に關しては六千圓の旅行補助を支出することに決定した

けふの番組

(朝)

七、五〇ラヂオ體操・入港船のお知らせ(大連)

八、一〇ニユース

氣象通報

八、二〇朝の音樂(大連)

九、三〇子供の時間(東京)ラヂオ訪問＝第一陸軍病院より中繼＝

一〇、〇〇日曜勤行(京都)＝淨土宗大本山百萬遍知恩寺本堂より中繼＝

一、皇軍武運長久祈願會　導師大僧正　桑田寛隨

二、法話　銃後のいのり　一山大衆出仕　外　桑田寛隨

一〇、四〇講演(東京)

一一、一〇經濟市況(東京)

一一、二〇講演(東京)　戰時に於ける輸出工藝の振興に就いて　商工省囑託　飯野逸平

一一、五九時報(東京)

〇、〇一ソーセージの出來る迄＝秋林ソーセージ工場より中繼＝(哈爾濱)

〇、三〇ニユース(東京・新京)

一、〇〇新人推薦の午後(東京)

歌澤　うすずみ・外一曲　篠原安枝

長唄　鞍馬　五十嵐てる子　外

常磐津　若木花容彩四季　井上はる

清元　四季三草　小柳一郎　外

新內　關取千兩幟　藤松緑壽

三、〇〇市民藝術大會中繼＝協和會館より＝

四、〇〇ニユース(東京)

(夜)

ニユース・

六、〇〇……エリツヒ・……

六、三〇趣味……歳末旅行に……

七、〇〇ニユース・

七、三〇海軍……横須賀海兵……外四曲

七、四五日曜……藝(東京)

八、一〇浪花……勘五郎越後……

八、五〇連續……うもれ木　オシップ……

九、音樂……

九、二九時報……ニユース解說……

ニユース・番組事項・……

一〇、二〇……アナウンサー　宮岡……

獻金

駐滿海軍部

駐滿海軍部受付三日より十……の獻金左の如し……

學藝

新京のあれやこれや (七)

山谷三郎

妻が風邪で寢込んだ。始めの内は大した事は無いだらうと安心して居て何かと働いて居たのが惡かつたのだ。

生れてからやつと十ヶ月にしかならない女の子が有るからどうしても無理をし易い。乳が出ないため色々な榮養分を混ぜ、牛乳を作る事は何をさて置いてせねばならなかつた。それで熱が九度を越えて居ても起きて働いた。

外の寒氣は愈よ本格的で氣象通報では毎日零下二十度を降る氣溫を報じて居た。妻の寢て居る間に積つた雪は煤煙で汚れて居る新京の街を銀白色に包んで美しかつた。

ばつたり寢ついてしまつてから體溫は四十度を降らなくなつた。一週間以上も四十度の熱が續くと身體は極端に衰弱してしまふ。でなくても平常から痩せて居た妻の身體は細つてしまひ藥指に指して居た指環も一番太い中指に移しても直ぐ拔け落ちさうだつた

醫者はこの狀態が長く續いては危險だと云つた。家政婦は雇つたが誠意の無い女だつた。六十にならうと云ふのに新京に流れて來て働かなければならない事を常になげいて居た。夫は大工で大した働きが無いから妾がこの年をして苦勞せねばならないのですと云つて居たが一日家に歸つて來て酒臭い息を吐いて居た。

家政婦がそれだつたから私は子供の世話を萬事せねばならなかつた。子供は妻の枕元に行きたがつて私の腕の中でよく泣いた。而し枕元に連れて行くと妻の髮の毛を引つぱつたり起きて吳れと云はんばかりに暴れたりするので連れて行けなかつた。

私は子供にやる牛乳を混ぜながら何とは無しに熱い涙が滲んで來るのを止めるわけに行かなかつた。私の髭がと角すると鼻髭になつた。妻はそれに氣がついて居たかどうか

「風邪をひいたのではないんですか」

と私の身體を氣付かつて居た

新京の空は煤煙で眞黑だつた。風の無い日は煙霧で太陽さへ姿を見せない事がある。妻はその憂鬱な空を窓越しに見て

「外は寒むさうですね、新京の寒さはもう妾には澤山ですわ」

と云つた。

毎年冬になると身體を惡くして寢込む弱い妻には新京の寒さは身に沁み込むのだつた

妻は十日の夜になると急にぐつと衰弱した。夕方から身體の中が痛いと云ひ出した。もう床の上に起き上る力も無くなつて、今迄は僅かばかりでも入つて居た食物を吐き出した。

私はどうしてよいか解らなかつた。うろうろするのみだつた。

腹の中に何か有るのだつたら吐くにも樂だつたらうが、吐く物は僅かな藥だけだつたからその苦しみようは傍から見て居ても痛々しかつた。

熱のある顏は赤くほてつて居たが吐くと尚一層眞赤になつた。身體からは熱のため汗ばんだ臭がむつと鼻をついた。

家政婦は急に風邪を引いたから歸へして吳れと云ひ出した。風邪を引いたなんて云ふのは嘘であることは分り切つて居た。咳一つするので無いのだからそれは口實に過ぎなかつた。妻の身體が急變して世話をするのが大變だつたからだつた。

私は家政婦の不人情さに腹が立つよりは開いた口がふさがらなかつた。今迄は大して用も無かつたのに之れからと云ふ時になつて暇を吳れと云ふ

「すみません」

と云つた切りだつた。

子供は何も知らずに深い眠りに落ちて居た。

私の眼にぐんと突いて來るものがあつた。が病み細つた妻の前で頼みにする私の困惑して居る姿を見せ度くなかつた。じつと出て來る涙を我慢して居ると尚一層熱いものがこみ上げて來る。

妻は寢返りを打ち度いと云つた。私は妻の自分から寢返りする事も出來なくなつて居る身體をそつと抱いてやつた

其の時だつた、かすかに私の耳をつくサイレンの音に氣がついた

「とうとう南京が陷ちたよ」

南京陷落の報があると新京中のサイレンが十秒間鳴らされると云ふことを知つて居たから今のサイレンの音はそれだと氣が付いたのだ。」

「よかつたわ」

妻は力は無かつたが心から嬉しさうに云つた。

病氣中南京の陷落はまだかまだかと聞いて居た妻は余程嬉しかつたのだ。

外では未だ靜かな夜空にサイレンが鳴つて居るのだらう私達の部屋の中にもその響が靜かに流れて居た(つゞく)

滿洲童謠集 (C)

山田あきら

【霧降る街】

日暮れ霧降る街でした
ほつぺに冷い霧でした
はなればなれに街燈も
ならんで浮いてる街でした
日暮れに早い街でした
音なく霧降る街でした
馬車も電車も自動車も
みんな急いてた街でした

【氷の坂道】

ふつてきた
氷の坂道スッテンテン
遊びに行きましよ
戸外デー
坂道すべるよスッテンテン
三人そろつて
レッヤンゲ
氷の坂道スッテンテン
眞中轉べば
右 左
三人一緒にスッテンテン

チラン紛雪

吉鐵俳句會

兼題 狩 冬の朝
席題 目貼

匪が據りし砦に狩の握飯解く　柳風
鍵の冷え掌に殘るなり冬の朝　伯陽
生擒の子熊もをりし狩の幸　越山
雪山に狩を見たり狩日和　虚來
始發車の湯氣もうもうと冬の朝　きよし
冬の朝木の間はるかに海荒るゝ　葉々
軒端のふくら雀や冬の朝　午山
眞鍮の社標きらきら冬の朝　一爾
スケートの手入するや冬の朝　九樂
四五日もかゝりてすみし目貼かな　五常

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し(係)

△斯民(十二月十五日號)時事寫眞を豐富に盛つてゐる、谷次亭「視察華北之感想」その他小記事も數多い(新京北安路、滿洲國通信社、半年一圓五角)

△創造(十二月號)「英國打倒號」と銘打つてゐる、森吉義旭「日・獨・伊防共協定」荒基「躍進途上の滿洲移民」一宮房治郎「上海戰線を顧みて」その他賑やかなものである(東京市神田區淡路町二ノ七、創造社、三十錢)

△日華(十一月號)以前の「日支」を改題したもの、末木儀太郎「北支那政權論」井東憲「對日長期抗戰の不可と極東の將來」「時局知識問題の解決」等を載せてゐる(東京市麹町區富士見町二丁目一〇、日支問題研究會、三十五錢)

△內外經濟情報(十二月號)「滿洲麵粉推銷華北之檢討」「我國經濟之躍進的發展」「開發華北經濟之研究」外調査、經濟時報報等を收めてゐる(新京吉野町三丁目七、日滿實業協會滿洲支部 十五錢)

△正金週報(十二月十日號)九月本邦貿易の數量統計」「歐洲、亞弗利加、近東に於ける日本商品」三」等を收錄(橫濱正金銀行調査課)

滿洲歌壇回顧 (一)

甲斐水棹

明治四十二年既に旅順陸軍部の河村藤綱氏が主宰者として「いさを會」なるものがあつた。これは舊派のいはゆる和歌であつたが滿洲の同好者を集め月々精進してゐたのであつた。蓋し滿洲歌壇の歌誌としては一番槍ともいへやうなほこの明治四十二、三年頃は如何なる社會情勢であつたからか、短歌、俳句川柳など續々その緒についたのであつた。即ち俳句は「アカシヤ」と號して明治明治四十二年十一月に滿洲俳誌の最先鋒が創刊されたし、川柳の方は明治四十三年春大連川柳會なるものが結成され四十五年全滿嚆矢の機關誌をもつてゐた。

さて「いさを會」の他には明治四十三年春に創立された大連の「浩然吟社」が考へられる。機關誌「浩然」は四十四年一月創刊號を出したが、短歌の他にも俳句、漢詩を採錄した。短歌では末永純一郎高坂景顯、田岡准海、甲斐水棹等の名を覺えてゐるが他の方々を詳かにしないのは遺憾である。唯短歌選者が海上胤平氏であつた事を記憶する。

明治四十五年頃に純粹の短歌專門の結社が大連に形成された。

これは當時滿洲日日新聞に記者として入社した渡邊三角州氏が歌壇を作つてゐたが氏を中心に淸島蘇水、角田笹舟池內赤太郎、江口とり、甲斐さゆり等が集つたもので「滿洲詩社」といつた。この「滿洲詩社」は機關誌「霧」を出した。中心となる渡邊氏は東京に於て與謝野氏直門であつたが「霧」はそれらの系統の色彩を濃くすることなく自由主義的な動向をとり、時折短歌會を開いて同人間の眞劍な研究と短歌の普及、新人の發見につとめた「霧」は數年續いて廢刊されたが、この時代は滿洲歌壇勃興の混沌期ともいふべく。先にあげた諸氏の名は永く記せらるべきであらう。この廢刊後は夫々系統的な方向に向つたり胎動に、比すべき種々の行動を續けたが時に記すものもない樣である

これより先大正二年に土岐善麿(哀果)氏が來滿、哈爾濱、旅順、安東等の所々で作品を殘されてゐるが、當時の筆者の記憶には殘つてゐない

大正七年「かはせみ」が生れた。これは牧雨蛙彌吉白葉同筑紫兄弟らが中心となつたものである。十數號出して廢刊した。

大正七年晩秋には滿洲日日新聞社の本田濃花矢橋小蛇山脇秋香氏らと「霧」の人々の斡旋で大連常安寺に於て短歌大會をひらいたが、この時は五六十名の出席者であり當時にあつて盛大きはまるものであつた。この頃活躍せる人々は前記本田矢橋氏らの他に體育協會主事をした林田素繩氏や柳壇に重きをなす大島濤明氏らがある。

大正十年頃西與陵氏は文藝誌「曉」を發行したが歌壇は磯田迷香、甲斐水棹が交互選者となつて續いた「曉」は後に「赤陽」と改題して文藝の合同運動を續け大正十二年頃まで活躍した。この頃詩誌「あゆみ」は歌欄を設け內地歌壇の並木秋人氏の作を掲載した事などあり、短歌關係の同人としては三井鶴吉氏がゐた

この間アララギ系の池內赤太郎氏は角田笹舟、淸島蘇水、秦美穗、江口とり、甲斐水棹らと共に「合掌」を發行したがしばらくにしてやみ、後アララギ同人のみで「荒栲」を出した池內、江口氏の他武田登市、羽室長靖氏らが入つた

營口にあつた「平原詩社」の人々は時折作品を滿洲新報にのせてゐたが、他にも機關誌をもたぬ結社に「叫び詩社」があり、水野しげる氏等が詠草を回覽して精進してゐた。

又大連新聞の文藝部の中溝新一氏が斡旋して土曜會といふ短歌會が出來、五六向繼續された事などもきいた。

少し前後したが前記「合掌」創刊の以前、大正八年六月頃磯馴松氏が滿洲日日新聞紙上に純粹短歌運動の筆陣をはつた事から同紙の記者山路秋香白水郎禿頭翁氏らと十數回にわたる論戰が展開された。

池內赤太郎氏は「滿鐵讀書會雜誌」「滿洲日日新聞」歌壇選者としても貢獻した。

アララギの軍鎭島木赤彥氏の來滿は大正十二年十月末であつた。十月二十九日の夜、大連ラヂウム溫泉では氏の歌道講話があつた。會する者七八十名。その速記は前記「荒栲」に四回にわたり分載された。

以下昭和にうつるまでさしたる事もなかつた樣に思ふ。歌誌としても一つの空白期間ではなかつたかと考へる。

森永ドライミルク

胃腸病　結核　姙産婦　虚弱兒　の　生物藥療法

黴菌が藥になる

と云ひますと不思議に思はれるかも知れませんが、實際さういふ黴菌が發見されてをります。しかも、その藥としての効果が非常に廣いのが更に驚かれる特徴です。この黴菌はヘーフエ菌と呼ばれ、これを藥用に使つたといふ起源は非常に古いものですが、そんなに良い効果のあることが知られたのは七年前にわが國でこの黴菌を巧妙に藥劑とすることに成功し、多數の人々に用ひられてからであります。御存知の方も澤山あると思ひますが若素（わかもと）といふ藥がそれでありますーーこの生物製劑若素（わかもと）が、七年間に數千萬の病、衰弱者によつて服用せられた結果を綜合してみますと次の樣な作用があることが明らかになつてをります。

胃腸の働きを強くして 消化吸收を活潑にする

先づ第一に、若素（わかもと）は胃腸病に用ひていろ〳〵の消化劑、健胃劑、整腸藥などを兼ねた効果があります。大概の場合醫者が胃腸の病人に藥を服ますとき、たゞ一種類の藥だけを處方するといふことはありませぬ。必ず數種の藥を調合する必要がありますが、この若素（わかもと）は胃腸病の治療に必要な種々の消化酵素、腸内の有害菌を防ぐ成分、便通を整へる成分などが、謂はゞ天然に調合された樣な藥で、もつとも良いことは胃腸の衰弱してゐる機能を強くして、自力で消化、吸收の働きを活潑にする作用のあることです。

だから例へば、胃酸過多症の人が若素（わかもと）を服むと胃壁の機能が正常になり胃酸の分泌作用が調整されて、ゲツプ、胸やけがとまり、胃弱なら衰弱してゐた胃筋肉の細胞が力を恢復して食慾が進み、腸力タルで消化力が衰へたのはデアスターゼ、リパーゼ等の消化酵素の分泌が增して消化がよくなり、下痢便も正便になります。

結核菌の勢力を挫き 熱が下り體重を增す

この樣に胃腸の機能が強くなりますから、肺結核や肋膜炎のやうな榮養をよくして全身の衰弱を恢復しなければならない病氣の人が服みますと、食慾が進み、消化と吸收がよくなつて、體重も殖えれば、疲勞感も去り、抵抗力が昂まつて來ます。またこれを服むと、體内の白血球が殖え、病菌を殺す機能の强まることは京都帝國大學での實驗もあつて、この意味からも結核菌の勢力を挫きますから、別に解熱劑を服まないでも、だん〳〵に毎日の熱が下り病氣が輕快してゆくのが判ります。

★若素（わかもと）を服むと體内の白血球が殖え、病菌を殺すはたらきの强まることは京都帝國大學の實驗もあつて、この意味からも結核菌の勢力を挫きます。

便通をよくし、脚氣 浮腫、つはりを防ぐ

次に、大變にいゝと思ふのは御婦人方に非常に多い便秘にこれがよく効く事です。これはカスカラとかさういふ下劑ではありません。便秘の多くの場合の原因になつてゐる腸の弛緩、または攣縮に對して、腸の機能を活潑にして自然的に便通を得させるものでありますから、腹痛の樣な副作用がなく、續けて服んでも習慣性になることもありません。

殊に姙娠中や産後の、便秘はよくないのでありますから、さういふ御婦人は尚の事かういふ副作用のない便通劑が適當ですが、更に榮養の側からみますと若素（わかもと）は非常に豐富なビタミンBを含んでゐます。

姙娠中から産後お乳をのませる時期へかけて、ビタミンBを攝らなければならない量は、平生の三倍以上と想像されますので、普通の食事を攝つてゐたのでは何うしてもビタミンBが不足し、脚氣や胃腸病、浮腫などを起しがちです。それで若素（わかもと）を服みますと、便通をよくするばかりでなく、脚氣や浮腫を防ぎ、つはりにもよく、産後の衰弱を早く恢復し母乳も榮養に富んだのが澤山でる樣になります。

發育がよくなり 丈夫な體質を造る

次に子供に對する効果ですが、赤ちやんの時代は旺んな成長を營まねばならないので、榮養を供給する胃腸の負擔が大きく、その爲に胃腸が害はれ易く、一旦胃腸が惡くなると全身の衰弱もひどい譯でありますが、この若素（わかもと）を服ませますと胃腸の働きが強くなるので消化不良や、綠便、粘便などがよく恢復します。牛乳育ちの赤ちやんの場合は牛乳に混ぜて服ませますと、母乳兒に比べて遲れがちた發育を促進します。

やゝ成長したお子樣で身體が弱い、風邪をひき易い、お腹をこわし易いといふ樣なのには若素（わかもと）は從來の一、二種の成分から出來た滋養劑や强壯劑の及ばない効果を現します。成分からいひますと

★牛乳育ちの赤ちやん等の場合は牛乳にまぜて服ませますと母乳兒にくらべて遲れがちな發育を促進します

成長素といはれる

ビタミンB2が極めて豐富で、その外にビタミンAやDもあり、アミノ酸、蛋白質、カルシウム、鐵なども含んでゐますので榮養素を萬遍なく補給する目的にも適ひますが、更に全身を組織してゐる細胞の働きが力付けられるので、その點から發育が大變によくなり、體質が丈夫になつて來ます。

この身體の細胞の働きを强めるといふのが若素（わかもと）の最もすぐれた特徴で、これを學問上細胞原形質賦活作用（Protoplasma Aktivierung）といひ、いろ〳〵の病氣を治癒する基調になるのはこの作用をおいてはないのであります。

代用藥無し！

若素（わかもと）は數十種を算するヘーフエ菌の中、もつとも醫藥的價値に富む優秀なる特殊の菌種を特許方法により製劑化せるものにしてその主菌は日本藥局方『藥用酵母』試驗に合格せるのみならず、白米食に缺乏するビタミンB1B2の含有量はあらゆる生物を通じて随一なる有名品なり。數十種の類似品あり。若素（わかもと）の名に御注意の事。

若素 わかもと

蒙疆聯委會代表者 友邦國都を訪問
日、滿、蒙相互の和親をはかる 德王等使節の顏觸れ
綻ぶ平和の朗報

【張家口國通】南京政府と覆軍閥の羈絆を脫し七百萬民衆の安居樂業新生活に入つた蒙疆聯合委員會は日滿兩國と緊密なる提携を結んで、東洋平和に貢獻せんとの念願から今回代表者を隣邦滿洲國の國都新京に派遣して今後の親睦をはかり、彼我相約して共通の使命達成に邁進することゝなつた、この事はたゞに日滿蒙の相互提携の象徵として意義あるのみならず、歐亞防共樞軸の完成として世界歷史に光輝ある一頁を加へるものである、代表者氏名左の如し

△蒙疆聯合委員會
察哈爾 卓特巴扎布
金永昌
察南 于品卿
杜運宇
晉北 馬永魁
德王
蒙古聯盟 李守信

ほかに隨員六名一行は二十三日新京着、二十四日は滿洲國皇帝陛下に拜謁仰付けられ植田關東軍司令官と會見、二十六日は皇軍將兵の慰靈祭に參列、蒙疆政權建國の礎石として散つた英靈にひざまづき二十八日新京發歸還の豫定

赤十字婦人會 傷病兵慰問

戰時體制下にある日本赤十字社篤志看護婦人會は松井最高指揮官夫人の志願參加等其使命達成に益々活躍を續けてゐるが、新京支會では十八日午後會長柴崎總領事代理夫人、副長赤木夫人約四十名の新京在住篤志看護婦を動員して新京陸軍病院を訪問して白衣の勇士を見舞つた、同日は國防婦人會の恒例忠靈塔參拜日に當つてゐたので正午嚴寒を衝いて忠靈塔前に集合、參拜を終つて後陸軍病院へと向ひ全收容兵士に慰問品を贈ると共に赤十字マーク入の吸殼落しを記念品として各室に配布した、次いで新造の娛樂室において滿洲映畫協會及び國防婦人會の好意に依り提供された映畫「朝日事變ニュース」「青春滿艦飾」「富士に立つ退屈男」等を映寫して終日心からなる慰問に努め尊き赤十字篤志看護婦としての使命を果し病院側でも非常に感激してゐた

郵政保險料拂込 日滿間に便法
移轉届を出せばよい

郵政保險は本年十月創業以來一般民衆の歡迎を受け最近新規契約の增加著しきものがあるが、この保險契約者が滿洲國より日本乃至朝鮮等へ移轉したる場合引續き保險料の拂込をなすためには郵政爲替によるほか方法がなく、從つて送金額に相當する爲替料金を必要とするほか郵便局へ赴く不便等の爲自然解約失效を見る虞れがあつた、よつて郵政總局ではこの不便を除去するため去る十二月一日日本との間に協定をなしたが、種々準備の都合上多少の延引を見たが此程漸く實施の運びとなつた、即ち新協定によれば契約者が日本乃至は朝鮮、關東州へ移轉したる場合右契約者が受持の郵政局に對し轉居届を出せば移轉後新たに受持となる郵便局が引續き集金をなし從つて契約者は滿洲に在住する場合と同樣の便益を享有し得ることゝなつた、これと同時にこの協定によつて簡易保險の契約者が滿洲國へ移轉した場合にも滿洲國の郵政局がその保險料を集金するやう相互協助の方法がとられてゐるこのほか滿洲國內保險料集金區域外居住の契約者に對しては郵政振替を利用し得るやう新京、奉天、哈爾濱、錦州に夫々口座を設けこれによる保險料の拂込を認むることゝなつた

市民忘年藝術大會 第一日目賑ふ

協和會首都本部の主催の下に三江省特別工作應援資金募集の目的を以て催された市民忘年藝術大會第一日は十八日午後七時より協和會館において行はれた、定刻多數市民は續々來會滿堂に溢れて、武藤中央本部宣傳科長の趣旨挨拶の後、藤間勘壽久の日本舞踊「越後獅子」、中山義夫案舞の「いたづら小僧日記」、大同劇團の「發明と自由戀愛」及び哈爾濱より大舉來京した哈爾濱交響樂團の管絃樂と盛澤山なプログラムは何れも好評を得て同十時過ぎ閉會した

書初めにも時局の現はれ
三中井で展覽會開催

例年新京市內小學校全學年兒童及び中等學校一部生徒の出品に依つて行はれる新年書初め展覽會は明年は一月二十二日より二十六日まで五日間三中井百貨店ギャラリーにおいて開催することに決定して、出品する書初めの文句は國難に直面してゐる現時事變の次に來るべき明朗日本を象徵し且つ躍進の一途に有る滿洲國を謳歌する意味を含めるものとされたが、今回尋常科では一年生が「バンザイ」二年生が「はつ空高し」三年生が「明るい日本」四年生が「大御代の榮」五年生が「皇風千里春」六年生が「萬民仰聖德」とそれぞれ決定して各小學校共練習に入つたが、學童の熱心は新しき昭和十三年の初春を迎へて墨痕淋漓たる力作を見せるであらうと期待されてゐる

國防會館に 特志寄附者續出

在鄉軍人會新京聯合分會、國防婦人會新京支部、滿洲防空協會、滿洲飛行協會の四團體に依つて西公園テニスコート跡に建設中の國防會館建設資金は各會とも全會員間に目下募集中であつて在鄉軍人會は二萬六千六百圓を分擔醵出することゝなつてゐるが、非常時の折柄一口金壹圓以上を自發的に應募する會員は現在一萬人以上に達した、外に特殊寄附として同聯合分會長五十嵐房吉氏の參百圓、赤木洋行夫人の一百圓、ミヤゴールデス夫人の一百圓、中央通警察署斧坂一氏の十圓が應募されてゐるも、時局重大化の現下新京防備の一翼としての同會館建設趣旨に贊同の上更に特志寄附者の有ることを希望されてゐる

特別市區長顏觸れ
町會、屯會長ともに決定

新京特別市區長ならびに町會長および屯會長は十八日左の如く決定を見た

△寬城區＝區長李朗誠、孟家橋町會長于顯廷、韓家屯町會長李興東、散步關町會長郝殿堂、軍用路町會長、賈覺非、寬城子町會長傅問令

△長春區＝區長馬駿鳳、大馬路町會長秦慶之、東三道街町會長史國勳、新天地町會長田汝春、東大橋町會長平井織之助、興運路町會長岳鋭三、長通路町會長張步鑾、永長路町會長趙殿宸、東安屯町會長高鳳岐

△大馬路區＝區長中村七之助、南永春路町會長原健太郎、南關大街町會長史雲亭、九聖祠町會長吳鳳五、西四道街町會長邵鳴鈞、自强街町會長任古務也、清明街町會長佐々木孝益、大經路町會長山中政一

△興安區＝區長佐藤稍一、北安路町會長松島鑑、豐樂路町會長河合文二、城後路町會長清水豐太郎、興安大路町會長田崎治久、東朝陽路町會長本田勇、清和街町會長島川清久、櫻木町町會長櫻井重義、雲鶴街町會長相原楚人

△東站區＝區長沙離金、東新京驛北町會長張文鎬、東新京驛南町會長傅家珍

△順天區＝區長三宅亮三郎、同義和路町會長小野兵一、同沿街町會長三木修藏

△東光區＝區長伊ケ崎卓三、通化路町會長樋口良治、南嶺町會長栗山七三則

△和順區＝區長畢福廷、民豐町會長任興周、嶺東路町會長郭海濱、和順公園町會長史仁山、臨河街町會長劉永河楊峻山、拉々屯會長曹殿武

△南河東區＝區長譚文斌、灌子洞屯會長王會濤、靠邊屯會長孫榮山

△北河東區＝區長王化民、金城堡屯會長張乾範、八里堡屯會長張秉德、楊家店屯會長賈翰俐

△合隆區＝區長荀蔭柏、遊家濤子屯會長荀蔭柏、老西窩棚屯會長楊振山、員家營子屯會長高鴻升

△大屯區＝區長宗紹元、茫家屯會長宗紹元、大隋家窩棚會長王立鵬、大孤榆樹會長王耀喜

△雙德區＝區長王品衡、黑鶯子會長李雲峰、雙德店會長李相春

△吉野區＝區長小松兼松、住吉町會長（未定）富士町會長寺中楠治、三笠町會長松田征太郎、吉野町會長藏竹三郎、祝町會長穴澤喜壯次、入船町會長淺井庄一郎、朝日通町會長天野恒太郎、日本橋通町會長宇野常吉

△敷島區＝區長早川武夫、中央通町會長柴田正、西廣場町會長（未定）白菊町會長羽田文次郎、菊水町會長（新設）未定

文字による五族統一 音標文字の完成
協和會松川氏苦心の研究發表

トルコのケマルパシャは最も至難事とされてゐる文字革命を斷行し、凋落トルコの再興建設を實現せしめ世界史上不世出の大政治家として謳はれたが、協和會宣傳科松川平八氏は日本が眞に大陸政策の完成を期すには先づ文字を統一しこれに依つて日滿支各民族の思想、感情の融和を計らねばならぬと着眼、十五年來研究に研究を重ねて來たが、この程日本の假名文字に五種の符號を加へ音標文字となし漸次難解な漢文の文字革命を行ふといふ研究論文を脫稿、近く日滿識者に呼びかけることゝなつた

今から十五年前海軍豫備少將福永恭助氏のローマ字論を聞いた松川平八氏は爾來熱心な文字革命論者となり研究に沒頭する內、日本の假名文字を東洋のローマ字とし全部これに統一文字を通じて東亞萬代の平和を期さねばならぬと確たる信念を得、協和會に入つてからも專心研究を續け、遂に今日完成したものである

氏の計畫に依れば最初の一ケ年は滿洲有識階級に漢文革命の必要性を說き、實行期を第一期から第五期迄に分ち第一期では新聞雜誌の漢字にふり假名をつけ一通り訓練が出來ると漢字を取り去つて假名文字だけとし、次に日本語讀みをそのまゝ文章の中に入れ最後に日本語に統一し、こゝに完全なる民族協和を實現せしめ樣といふ遠大なる計畫である、論文の最後の章を書きつづけてゐる氏はペンを置くと左の如く語つた

何しろ數千年來の傳統をほこる漢文を改革し樣といふのだからそう簡單に行くわけはありません氣永く一生の事業としてやり度いて思ひます、音標文字にすれば假名だけ覺えれば誰でも讀書をすることが出來ますから一般民衆の文化的水準は急激に高度化されます、日本邊りでも漢字制限とかいつて騷いでゐますが、實際幾萬といふ漢字の中には辭書にもない樣なのが澤山あります、しかも文化が進むにつれて字の數は益々增加する一方ですす早く何とかせねばなりますまい（寫眞は松川氏）

金融機構整備に關し 經濟部次長談を發表

滿洲國金融機構の整備問題に關し經濟部當局は次の如き次長談を發表した

產業五ケ年計畫の遂行を圓滑ならしめる爲に金融の統制、爲替管理、貿易の統制等の所謂金融動員の體勢を整へると共に他面國內金融疏通の方策等に付ても十分考究を要することは勿論であつて、當局としても職責上種々調査を進めて居る次第であるが金融機構の整備に就ては特に愼重なる態度を取り萬全を期する考へであつて、今日何等特別の決定を見て居る譯ではない、近來金融機關の改革等の問題について種々の說が傳へられてゐるが、金融機關は今更詳述する迄も無く專ら信用を基礎として立つて居るものであつて其制度の改正等に付てはその財界に及ぼす影響等を考へ充分愼重な態度を採ることが必要であると考へる、最近にも中央銀行に關する記事が出たが當局としてはこの問題に關しては現在では白紙の狀態であるから此點は世間一般にも誤解の無い樣希望する次第である

教育奬勵會 主体を學校組合內に

新京附屬地日本人子弟教育奬勵機關の一として活躍をつゞけて來た新京教育奬勵會は附屬地行政移讓に伴ひその所管たる滿鐵新京支社地方課の解消により將來主體を何處に置くかにつき十八日午後三時から支社會議室に各評議員參集種々協議の結果主體を新京日本人學校組合內に置き今まで缺員となつてゐる會長には特別市副市長關屋悌藏氏を推薦本人の承諾を得ることゝし缺員の評議員も充員し積極的活動をなすこととなつた

馬糞受器用袋 二月頃取付け
生地積載の船沈沒の爲遲延

市民待望の市內乘用馬車馬糞受器は研究に研究を重ねた結果ほゞ完全なものが出來たので本月中に市內二千餘台の馬車の全部に取つけることゝなり首都乘用馬車人力車組合に於いて袋用生地を內地に注文準備中これを積載した【仁】第一號靜船が十二月二日午後十一時頃大阪港內に於て風浪のため沈沒し生地全部を流失したため蹉跌を來し遲延したが二月十日頃迄には取付け得る豫定である

弟よ「姉病む」

本籍德島縣美馬郡貞光町大字貞光字辻三六大阪時事新報美馬郡通信部谷本節一氏妻女愛子さんの只一人の弟である本籍長崎市西山通三丁目一七三濱口久雄氏（二六）は六年前天津より新京に行くとの便りがあつたきり音信不通で以來弟を尋ね出さんと手を盡して來たが判明せず最近愛子さんは會ひたい一念に病床にあり是非一人の弟を尋ね出してくれと十八日首都警察廳に捜査願出あつた

故中野琥逸氏 遺骨着京

前協和會中央本部指導部長故中野琥逸氏の遺骨は十八日午後三時半着（延着）列車で中央本部指導科青木敏彥氏並に令弟中野馨氏に護られ甘粕總務部長、徐新京特別市長始め協和會日滿各機關代表多數に出迎へられて無言の歸京をなした、遺骨は直ちに一同に護られて國務院積妙心寺に安置され同夜は協和會員でしめやかな通夜が行はれた

拾つた千圓
トタンに洋車夫持逃げ

悲喜交々織り出される慌しい師走の街に拾つた大枚〃千圓〃入り赤革ハンドバックの行方や如何にと言ふ夢のやうな事件があつた十五日午後五時前南廣場ミス東洋女給秀子さんは出勤のため東一條通り一條アパートの自宅前からかねて顏見知りの洋車に乘つて東一條通りマルマス吳服店前に差しかゝるや凍てついた路上に赤革エナメル製ハンドバックが寒風にさらされてゐるを洋車夫が目にとめ拾ひ上げて秀子さんに預けたが、車上に受取つた秀子さんは落主の名刺でも入つてゐないだらうかと何心なく開いて見るとなんと中には百圓札で一杯、とたんに恐ろしくなつて調べもせずパンと閉ぢてしまつた

五時二分前店に到着五時の點呼を受けてから近所の派出所に屆け出やうと考へ秀子さんは一先づ車から降りて店に入らうとした折件の洋車夫は秀子さんの袂をとらへ拾つたは自分だと返却を迫つて來たはずみにそのはずみで所持してゐたハンドバックが路上に投げ出されるや矢庭に拾ひ上げた洋車夫は警察にと言ふ秀子さんの聲を後に雲を霞と姿を消してしまつた

折柄警戒中の警察署員に屆出で直ちに手配、捜査は開始されたが、該車夫の姿は杳として不明であるのみならずどうした事か今尙警察に對し落主から何等の屆出でもないと言ふ全く夢見たいな話ではあるがせち辛い師走千圓?の拾ひ物とは誠におかしい事だともつぱらの話題―秀子さんは語る

ハンドバックの金はたしかに百圓札でした千圓いやそれ以上あつたやうに思ひます、見たとたん恐ろしくなつて調べても見ませんでした、外に滿洲國大型一圓紙幣二枚と正月餅の事を書いた紙片がありましたすぐ派出所に車を乘りつければよかつたのでしたが、丁度點呼の時間でしたので遲刻しないやうにそれを受けてからと思つて車を降り店に入らうとした折ニーヤに袂をつかまれとたんにすべつて思ひ切り倒れ起上ることもならず倒れたまゝニーヤにすぐ警察に屆けるやうに言つたのでしたが、丁度人通りもなくどうにもならなかつたのでした、それにニーヤはいつも私の家の前で客待ちしてゐますのでよく顏を知つてゐましたのでまさか逃げ出さうとは思ひませんでした

德興木局建築 アパート火事

十八日午後八時二十分頃東二條通四八木材商德興木局裏に建築中の同店所有アパートより出火急報により馳せつけた祝町、長春大街兩消防署員が鎭火に努めたが火勢强くアパートの大部及び德興木局の一部を類燒、午後九時五十分鎭火した、原因損害取調中

小谷主任赴連

滿鐵新京支社秘書係主任小谷壽氏は本社と事務連絡のため十九日午前十時の列車で大連に出張

ハンドル

市公署橫田官房庶務科長殆んど椅子に腰かける暇もない程多忙な毎日を送つてゐる▼あまりやり過ぎはしないかと心配性が忠告すれば▼それどころではない今の市公署は幾ら人間があつても足らん位だ俺ばかりぢやない皆んなそうだ▼來年になつて仕事が一段落つけば又總務廳にゐたときみたいに長椅子にふんぞりかへつて煙草でも吸へるだらう▼今は仕事と一騎打してゐるんだからね討死しても本望さハヽ……▼非常時の庶務科長は忠告を吹きとばして高らかに笑つた▼市公署隨一の貴公子心構へも又隨一か?▼喫茶店にねばつてコーヒばかり喫つてゐるノラクラ官吏共爪のアカでも分けて貰つてはどうかね

けふの天氣 北寄りの風晴
日の出 前八時八分
日の入 後五時三分
月の出 後七時二分
月の入 前九時六分
きのふの氣溫 最高零下三度 最低零下三度一

國民の覺悟と協會員の申合せ

暴支膺懲の戰線擴大に伴ひ皇軍の威力は堂々發揮せられ上海南京既に陷落し濟南は孤城落日の運命にあり支那は勿論之れを支援する兩國も流石に進退谷りたる窮狀にあるは膺懲の正義玆に現はれ我國民の眞意を强ふする處なり然りと雖も國家眞の非常時は寧ろ今後にあり、此際全國民は一層の覺悟を要するものと信ず。此秋に當り我協會員は肅正及共濟委員會の規程に基き極力冗費を省き虛禮の廢止を斷行すると共に年末年始の贈答並に賀狀廻禮等一切の舊習を革め各自業務の遂行に全精力を集中し以て非常時局に對應し以業奉公の誠を致すべく評議員會に於て決議し業者一般に之れを勵行せしむることゝせり就ては平素公私共に關係深き皆樣に對しても御遠慮致すべく申合せを爲したるを以て乍略儀新聞紙上にて右御挨拶申上ぐ何卒弊協會員の意のある處を御諒承賜らんことを冀ふ

昭和十二年十二月

社團法人 滿洲土木建築業協會

大連本部
奉天分會
新京分部
鞍山支部
撫順支部
安東支部
哈爾濱支部
齊々哈爾支部
錦縣支部
牡丹江支部
吉林支部

義人長七郎

（百三十七）

（舞臺上演・映畫化）中川雨之助
竹枝二郎畫

魔の手招き（二）

と、いふ理由は。

彼は兄として、妹の青春を、徒らに斯うした放浪の旅の裡に、空しく過ごさせたくなかつた。自分は男として武士の子として、主家の爲、又我が花房の家の爲に、どんな忍苦の生活を續けても已むを得ないとしても、愛するたつた一人の妹にまで辛勞へを負はしたくなかつた。石の下の雜草にも、春が來れば花が咲く。まして齢頃の妹が戀を知るのがあたり前だ。それに何の不思議があるものか。

と香爐に取つては、とても物の分つた、粹に捌けた兄さんであつたのです。

それにもう一つ、英之助の心を強く動かしたことは、彼も亦長七郎が、大好きになつてゐたからです。これが女なら、やはり惚れたとでも云ふのでせう。

「男の拙者だつて好きになる位だもの、女の好くのは、あたりまへだ。妹よ、よく惚れた。天晴れ〳〵」と、煽ぎ立てゝやりたい位なのでした。

だから、今の謎の使ひ、謎の手紙に對する香爐の心配は、やはり英之助の心配でゞもあつたのです。

その翌る晩、約束の子の刻少し前に、長七郎を乘せた駕籠が、もうすつかり寢靜まつた下谷金杉の通りから、更に淋しい野道に折れて、御行の松へと、急いでゐました。

「御行の松の處なんぞへ出て來いといふのは、少々變だわい」と、思はぬでもなかつたのですが、或ひは、當時お銀は、根岸邊へ住居してゐるのでは無いだらうか、とも思つてもみたのです。

そのお銀が、自分に對して、失戀の悩みを抱いてゐやうなどとは、既にも知らぬことだから、長七郎は、只だ好奇心に驅られ、何とかして、御墨付を、手に入れたいものだ、と思ふほか、別に危險とか不安といふ考へなぞは、[illegible]てゐなかつたのです。

「へい、御行の松は、もう直きですが、もツと近くへ參りませうか」

と、駕夫がいひました。

それは、西藏院といふ寺の門前でした。

「こゝで宜い。御苦勞であつた」

長七郎は駕籠を下りました、駕夫は戻つて行きました。

西藏院の前から更に右へ、細い田圃路を、長七郎は、御行の松の方へ歩いて行くのでした。

月の無い眞暗な夜ですが後の方は、街の灯が、茫ッと空を明るく染めてゐます。

間もなく、[illegible]〳〵と流れの音が聞えて來ました。

御行の松のある處は、俗に時雨の岡と呼んで、一株の老松の下に、不動尊を祀つた、草葺の御堂があつて、あたりは一面の田圃。そして岡の周圍を取卷いて、小川が流れて居るのでした。

長七郎は、暗の中にも、朦朧に聳り上つてゐる御行の松の姿を見つけました。そしてその下には、不動堂の燈明が、螢のやうに瞬いて居るのでした。

小川の石橋を渡つて鳥居をくぐつたが、何處にも人の氣配が致しません。

老松の幹に張り廻した注連繩が、夜風にカサ〳〵と鳴る。それが、まるで縊死れた人のさゝやきの聲のやうに聞えます。

とたんに、俄に落葉を踏む足音が、堂の後みの方から聞えて來ました。